Pioneer

取扱説明書

お取り扱いについてお困りのとき

http://pioneer.jp/support/product/blu.html

カスタマーサポート センター

フリーコール **0120-944-222**

一般電話 **044-572-8102**

受付時間
月曜～金曜
9:30～18:00
土曜
9:30～12:00、13:00～17:00
(日曜、祝日、弊社休業日を除きます。)

※「0120」で始まる フリーコールは、PHS、携帯電話などからは、ご利用いただけません。
また、一般電話は、携帯電話･PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

Blu-ray 3D™

Blu-ray Disc™

BD LIVE™

DVD VIDEO

HDMI

BDP-LX54
BDP-430

ブルーレイ3D™プレーヤー

もくじ

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

はじめに

準備

接続

再生

詳細設定

その他

＊ 取扱説明書に掲載しているイラストは説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なる場合があります。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の方々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

❖ 異常時の処置



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



万一、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一、本機を落としたり、カバーを破損した場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

❖ 設置



付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用いただけません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。



電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

❖ 使用環境



本機の内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。



本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法



本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

❖ 設置



電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。


電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。


電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。


電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


本機を移動する場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。


ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。


本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。


窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。


本機を調理台や加湿器の近くなど、油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。


テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。


本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。


本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります (取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます)。


放熱を良くするため他の機器、壁などから間隔をとり、またラックに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

◆ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
◆ じゅうたんやふとんの上に置く。
◆ テーブルクロスなどをかける。
◆ 横倒しにする。
◆ 逆さまにする。


本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

❖ 使用方法


ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。


レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。


長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。


本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。


旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

❖ 保守・点検


お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

⚠ 3D視聴に関するご注意


3D 映像の視聴中に疲労、不快感等、異常を感じた場合は視聴を中止してください。


発達段階にあるお子様 (特に 6 歳未満) の 3D 視聴は視力に影響を及ぼす可能性があるので、疲労や不快感がないか保護者の方がご注意ください。


3D 映画の視聴は適度に休憩をとってください。
◆ 長時間の視聴は疲労や不快感の原因になることがあります。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

D58-5-2-2a_A1_Ja

使用上のご注意

本機を移動する場合のご注意

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON**ボタン(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押して、本体表示窓の[POWER OFF]表示が消えてから、電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

組み合わせて使用するテレビやAVシステムの近くの安定した場所を選んでください。
テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
次のような場所は避けてください
- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所(台所など)

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないようにする

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。


注意

本機を設置する場合には、壁から10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から10 cm以上、背面から10 cm以上、側面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

D3-7-12-5-1*_A1_Ja

- 本機の使用環境温度範囲は+5 ℃～+35 ℃、使用環境湿度は80 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの**▲開/閉ボタン**を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

大切なお知らせ

本書に記載されているマークについて

- BDビデオ ……BDビデオの再生中に使える機能を示しています。
- BD-RE ……BD-REの再生中に使える機能を示しています。
- BD-R ……BD-Rの再生中に使える機能を示しています。
- DVD ビデオ ……DVDビデオの再生中に使える機能を示しています。
- DVD-RW ……DVD-RWの再生中に使える機能を示しています。
- DVD-R ……DVD-Rの再生中に使える機能を示しています。
- AVCHD ……AVCHDフォーマットで記録されているDVDの再生中に使える機能を示しています。
- 音楽 CD ……音楽CDの再生中に使える機能を示しています。
- CD-RW ……CD-RWの再生中に使える機能を示しています。
- CD-R ……CD-Rの再生中に使える機能を示しています。
- USB ……USBメモリーの再生中に使える機能を示しています。

商標・登録商標など

- AV素材には、著作権所有者の許可なしに記録してはいけない素材である場合があります。それぞれの国で関連法を参照してください。
- 本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許５４５１９４２号、５９５６６７４号、5974380号、5978762号、6226616号、6487535号、7392195号、7272567号、7333929号、7212872号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTSおよび記号はDTS社の登録商標であり、また、DTS-HD、DTS-HD Master Audio | EssentialおよびDTSのロゴはDTS社の商標です。製品はソフトウェアを含んでいます。© DTS社 不許複製。
- “Blu-ray Disc”、“Blu-ray” および “Blu-ray Disc” はBlu-ray Disc Associationの商標です。
- “BD LIVE” ロゴはBlu-ray Disc Associationの商標です。
- DVD はDVDフォーマットロゴライセンシング(株)の商標です。

HDMI

- HDMI、HDMI ロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国とその他の国における商標または登録商標です。

x.v.Color

- “x.v.Color”および x.v.Color は、ソニー株式会社の商標です。



- Java およびすべてのJava 関連の商標およびロゴは、米国およびその他における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

BONUSVIEW™

- “BONUSVIEW” はBlu-ray Disc Association の商標です。

RW COMPATIBLE

- この表示はVRフォーマット(ビデオレコーディングフォーマット)記録されたDVD-RWが再生できる機能を示します。ただし、1回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM対応機器で再生が可能です。

AVCHD™

- “AVCHD” および “AVCHD” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。

DIVX HD™

- DivX®、DivX Certified®、および関連するロゴは、DivX, Inc.の商標です。これらの商標は、DivX, Inc.の使用許諾を得て使用しています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計したLCフォント（複製禁止）が搭載されております。LCフォント、LCFONT、エルシーフォント及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。なお一部LC フォントでないものも使用しております。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

下記表のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。下記表のマークが付いていても、再生できないディスクがあります。また、再生できても、画質や音質は保証できません。

ディスクの種類		再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
BD	Blu-ray Disc BDビデオ	リージョンナンバー「A」または、「All Region（オールリージョン）」のディスク	12 cm盤	BDMV	音声＋映像（動画）
	BD-RE ※1	Ver. 2.1、SL（1層）/DL（2層）		BDAV※2, 3 BDMV DivX WMV MKV	
	BD-R ※1	Ver. 1.1、SL（1層）/DL（2層） Ver. 1.2、SL（1層）/DL（2層） Ver. 1.2、LTH TYPE Ver. 1.3、SL（1層）/DL（2層） Ver. 1.3、LTH TYPE			
				MP3 WMA	音声
DVD	DVD VIDEO DVD ビデオ※4	リージョンナンバー「2」または「ALL」の含まれるディスク	12 cm盤 8 cm盤※5	ビデオ	音声＋映像（動画）
	DVD RW DVD-RW※6 DVD R DVD-R※6 DVD R R DL DVD-R DL		12 cm盤 8 cm盤※5	VR ビデオ※3 AVCHD DivX WMV MKV	音声＋映像（動画）
				MP3 WMA	音声
				JPEG	静止画
	DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL		12 cm盤 8 cm盤※5	ビデオ※3 AVCHD DivX WMV MKV	音声＋映像（動画）
				MP3 WMA	音声
				JPEG	静止画
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO 音楽 CD		12 cm盤 8 cm盤※5	音楽用CD	音声
	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable CD-RW COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable CD-R		12 cm盤 8 cm盤※5	DivX WMV MKV	音声＋映像（動画）
				音楽用CD MP3 WMA	音声
				JPEG	静止画

※1 BDMVフォーマットとBDAVフォーマットが混在して記録されているBD-RE/BD-Rは再生できません。
※2 弊社のBDレコーダーで記録した長時間(H.264記録)ディスクも再生できます。
※3 ファイナライズしたディスクを再生できます。
※4 96 kHzリニアPCM音声は、48 kHzリニアPCM音声に変換して出力します。
※5 8 cmディスクを再生するときは、ディスクトレイの8 cmディスク専用の枠にセットしてください。アダプターは不要です。
※6 DVD-RW/-R(CPRM対応)に録画されている「1回だけ録画可能」の番組も再生できます。

お知らせ

- BD/DVDビデオの操作と機能は、本書の説明内容と異なる場合があります。また、ディスクメーカーの都合により一部の機能が使えない場合があります。
- 他機器で録画したディスクを再生するときは、必ずファイナライズしてください(本機ではファイナライズできません)。ファイナライズしても再生できないことがあります。

本機で再生できないディスク

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BDビデオ	• リージョンナンバーが「A（A を含む）」または「ALL」以外のディスクは再生できません。 リージョンナンバーの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE BD-R	• ファイナライズされていないディスク • BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。
DVD ビデオ	• リージョンナンバー「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク） • 無許諾のディスク（海賊版のディスク） • 業務用のディスク
DVD-RW DVD-R DVD+RW DVD+R	• データが記録されていないディスク • AVCREC フォーマットで記録されたディスク • 記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。 • ファイナライズされていないディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、再生できない場合があります。 また、ディスクによってはまったく再生できません。 **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク
CD-RW CD-R	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • マルチセッションのディスク • 音楽 CD フォーマット、JPEG、MP3 以外のフォーマットで記録されたディスクや、音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、再生できない場合があります。 また、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態 / ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては、再生できません。
音楽 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できない場合があります。 **本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用CDの再生を前提として設計されています。**
ビデオCD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

上記以外で再生できないディスク
・CDG※1
・フォトCD
・CD-ROM
・CD-TEXT※1
・CD-EXTRA※1
・SACD
・PD
・CDV
・CVD
・SVCD
・DVD-RAM
・DVD-オーディオ
・HD DVD
※1音声のみ再生できます。

❖ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク (ハート型や六角形等) は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



BDビデオについて

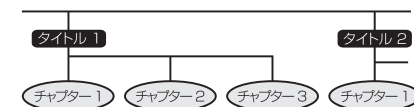
BONUSVIEW機能およびBD-LIVE機能に対応したディスクを再生できます **(15ページ)**。
ディスクからコピーしたデータ(第2映像(ピクチャーインピクチャー)など)やインターネットを経由してダウンロードした特典を楽しめます。たとえば、第1映像で本編を再生しながら、第2映像で映画監督による解説を小画面で再生できます。

お知らせ
- 操作できる機能はディスクによって異なります。

タイトル、チャプター、トラックについて

- BDとDVDに記録されている内容は、タイトルとチャプターに分かれています。1枚のディスクに複数の映画が記録されているときは、それぞれの映画はタイトルに分かれています。さらに、タイトルの内容はチャプターに分かれています(例1)。
- 音楽CDに記録されている内容はトラックに分かれています。1曲がそれぞれのトラックに分かれています(例2)。

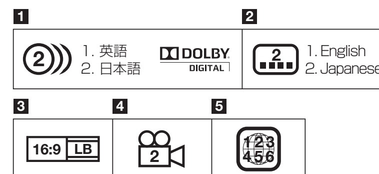
例1：BD、DVD



例2:音楽CD



DVDビデオのケースに表記されているマークについて



1 音声言語と音声フォーマット

DVDは最大8つの言語の音声を同時に記録できます。リストの1番目に書いてある言語が元の言語です。

この欄には、サウンドトラックの音声フォーマットについても書いてあります。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルを楽しむには本機とドルビーデジタル対応アンプを接続することをお勧めします。

DTS

DTSを楽しむには本機とDTS対応アンプを接続することをお勧めします。

リニアPCM

圧縮をしない音声信号です。

2 字幕言語

ディスクに記録されている字幕言語の種類を表しています。

3 画面縦横比

ディスクに記録されている画面縦横比の種類を表しています。

4 アングル

DVDビデオでは、最大9つのカメラアングルの映像を同時に記録できます。記録されているアングルからお好きなものを選んで楽しめます。

5 リージョンナンバー

ディスクのリージョンナンバー(地域番号)を表しています。

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについて

- ディスクに指紋やほこりが付くと、再生できなくなることがあります。ディスクはていねいに扱い安全な場所に保管してください。

ディスクの保管場所

ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。	
直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。	
落としたり、強い振動やショックを与えないでください。	
ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。	

ディスクのお手入れ

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。



- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- 記録面(再生面)には手を触れないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ディスクの記録面が汚れていたり、傷が付いたりしていると、本機が再生できないディスクと判断しディスクを排出する場合や正常に再生できない場合があります。

レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」**(32ページ)**をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

結露について

- 下記のような温度差の激しいところに設置すると、内部のピックアップレンズやディスクに「結露」が起こる場合があります。
  – 暖房をつけた直後。
  – 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  – 冷えた場所(部屋)から急に暖かい部屋に移動したとき。

  結露すると：
  - ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

  結露をとるには：
  - ディスクを取り出して、電源を切り、結露がなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

ファイルについて

DVD-RW　DVD-R　CD-RW　CD-R　USB

動画ファイルの再生について

お知らせ
- メディアやファイルの作り方によっては再生できないことがあります。

DivX®ファイルの再生について

DivX®ファイルを再生できます。

DivXビデオについて

DivX®は、DivX, Inc.が作成したデジタルビデオフォーマットです。本機はDivXビデオを再生できる公式なDivX Certified®機器です。DivXビデオへの変換ソフト、その他の情報は、divx.comをご覧ください。

MKVファイルの再生について

MKVファイルを再生できます。
- MKVは複数の音声、映像ファイルを格納できるファイル形式です。
- 再生できるファイルは下記のとおりです。
  – 解像度:1 280×720まで
  – 拡張子:「.mkv」または「.MKV」

Windows Media™ Video(WMV)ファイルの再生について

Windows Media™ Video(WMV)ファイルを再生できます。
- 再生できるファイルは下記のとおりです。
  – 解像度:1 280×720まで
  – 拡張子:「.wmv」または「.WMV」
- Windows Media™ エンコーダ9シリーズを使ってエンコードされたファイルに対応しています。
- Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

音声ファイルの再生について

Windows Media™ Audio(WMA)ファイルおよびMP3ファイルを再生できます。
- 再生できるファイルは下記のとおりです。
  – サンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
  – 拡張子:「.wma」または「.WMA」、「.mp3」または「.MP3」
  – ビットレート:320 kbpsまで(128 kbps以上推奨)
- MP3ファイルに埋め込まれたID3タグには対応していません。
- VBR形式のファイルを再生したときは、合計再生時間が画面に正しく表示されないことがあります。
- メディアやファイルの作り方によっては再生できないことがあります。

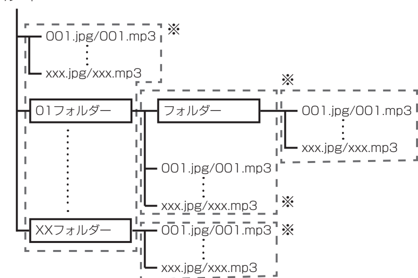
画像ファイルの再生について

JPEGファイルを再生できます。
- 再生できるファイルは下記のとおりです。
  – ベースラインJPEGおよびExif 2.2に準拠している。
  – 拡張子:「.jpg」または「.JPG」、「.jpeg」または「.JPEG」
  – 解像度:4 000×3 000ピクセルまで(24ビット)
- モーション JPEG およびプログレッシブ JPEG は再生できません。
- メディアやファイルの作り方によっては再生できないことがあります。

映像ファイル、音声ファイル、画像ファイルとフォルダーについて

下記のようにディスクやUSBメモリーにフォルダーを作成すると、音声ファイルや画像ファイルを本機で再生することができます。

フォルダー構成例：



※…ルートディレクトリを含め、ひとつのフォルダーに含まれるフォルダーとファイルの数は最大256個です。また、フォルダー階層は最大5階層にしてください。

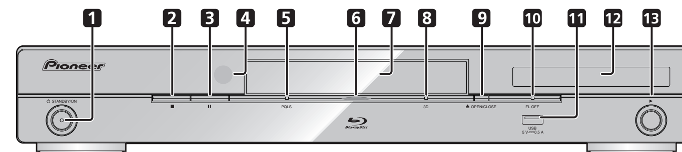
お知らせ
- 本機で表示されるファイル名やフォルダー名は、パソコン上の表示と異なることがあります。

付属品を確認する

リモコン	単4形乾電池(×2)	電源コード
		(BDP-LX54) または (BDP-430)
	ビデオ/オーディオケーブル	• 保証書 • 取扱説明書（本書）

各部の名前とはたらき

本体前面部



1 ⏻ STANDBY/ON（12ページ）
電源がオンのときにインジケーターが点灯します(BDP-LX54のみ)。
2 ■(停止)（14ページ）
3 ❚❚(一時停止)（18ページ）
4 リモコン受光部（12ページ）
5 PQLSインジケーター（14ページ）
6 ブルーレイインジケーター
電源がオンのときに点灯します。
7 ディスクトレイ（14ページ）
8 3Dインジケーター（22ページ）
9 ⏏ OPEN/CLOSE（14ページ）
10 FL OFFインジケーター（13ページ）
11 USB端子（11、23ページ）
12 本体表示窓（下記）
13 ▶(再生)（14ページ）

⚠ 注意

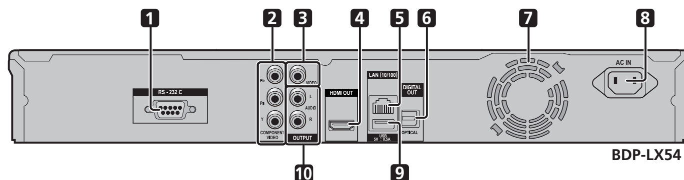
◆ 製品の仕様により、本体部やリモコン（ 付属の場合 ）のスイッチを操作することで本体表示窓がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（ 遮断装置 ）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くに、電源プラグ（ 遮断装置 ）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体表示窓



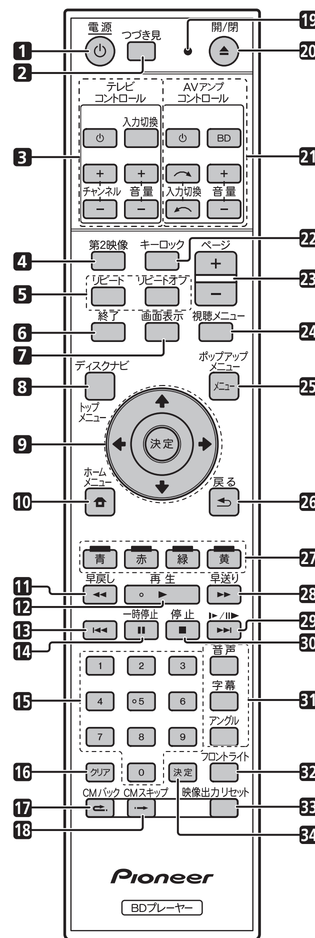
1 ▶
再生中に点灯します。
2 ❚❚
一時停止中に点灯します。
3 カウンター表示
タイトル／チャプター／トラック番号や経過時間などを表示します。

本体背面部



1 RS-232C端子 (BDP-LX54のみ)
この端子は使用しません。
2 コンポーネント映像出力端子 (10ページ)
3 映像出力端子 (10ページ)
4 HDMI出力端子 (9ページ)
5 LAN (10/100)端子 (11ページ)
6 デジタル音声出力(光)端子 (11ページ)
7 冷却ファン
本機の電源がオンのときに動作します。
8 AC IN (12ページ)
9 USB端子 (11、23ページ)
10 音声出力端子 (11ページ)

リモコン



1 ⏻ 電源 (12ページ)
2 つづき見 (19ページ)
3 テレビコントロール (13ページ)
4 第2映像 (15ページ)
5 リピート (18ページ)、リピートオフ (18ページ)
6 終了 (12、20ページ)
7 画面表示 (14、18ページ)
8 ディスクナビ/トップメニュー (15、16ページ)
9 ⬆/⬇/⬅/➡、決定 (12、20ページ)
10 ホームメニュー (12、20ページ)
11 ◀◀早戻し (18ページ)
12 ▶再生 (14ページ)
13 |◀◀ (16、18ページ)
14 II 一時停止 (18ページ)
15 数字ボタン (20ページ)
16 クリア (20ページ)
17 CMバック (18ページ)
18 CMスキップ (18ページ)
19 リモコンインジケーター
リモコンのボタンを押しているとき (IRコード送信中) に点灯します。テレビのメーカーコードを設定しているときは点滅します。
20 ⏏ 開/閉 (14ページ)
21 AVアンプコントロール
パイオニア製AVアンプを操作するときに使います。
⏻ …AVアンプの電源をオン/オフにします。
BD …AVアンプの入力を[BD]に切り換えます。
入力切換 ⤻/⤺ …押すたびにAVアンプの入力が切り換わります
音量(＋/－) …AVアンプの音量を調節します。
22 キーロック (下記)
23 ページ+/– (16ページ)
24 視聴メニュー (19ページ)
25 ポップアップメニュー/メニュー (15ページ)
26 ⮌ 戻る (20ページ)
27 カラーボタン (16ページ)
28 ▶▶早送り (18ページ)
29 ▶▶|/II▶/I▶ (16、18ページ)
30 ■ 停止(14ページ)
31 音声 (19ページ)、字幕 (19ページ)、アングル (19ページ)
32 フロントライト (13ページ)
33 映像出力リセット (21ページ)
34 決定 (12、20ページ)

操作ロック機能

本機の誤動作を防ぐ機能です。この機能は、HDMIによるコントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビからの操作にも働きます。
操作ロック機能をお使いになるときは、**キーロックボタン**を2秒以上押し続けます。再度**キーロックボタン**を2秒以上押し続けると操作ロック機能が解除されます。
- 操作ロック機能をオンにしたまま操作しようとすると、本体表示窓に[HOLD]が表示され点灯します。

お知らせ

- 本機のリモコンには、**決定ボタン**が 2 つあります。(9、34)
- リモコンモードの設定がある AV アンプを **AV アンプコントロールボタン**で操作するときは、AV アンプのリモコンモードを [1] に設定してください。詳しくは AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源をオフにして、電源コードをコンセントから抜いてください。
本機には下記の端子があります。お使いの機器に合わせて端子を選んでください。付属または市販のケーブルを使って、はじめに映像端子を接続し、そのあと音声端子を接続してください。

映像端子について

画質	端子		参照
高画質	① HDMI出力端子	HDMI OUT	右記
	② コンポーネント映像出力端子	PR / PB / Y COMPONENT VIDEO OUTPUT	10ページ
標準画質	③ 映像出力端子	VIDEO	10ページ

音声端子について

デジタル音声機器と接続する

音質	端子		参照
高音質	① HDMI出力端子	HDMI OUT	右記
標準音質	② デジタル音声出力(光)端子	DIGITAL OUT OPTICAL	11ページ

アナログ音声機器と接続する

音質	端子		参照
標準音質	音声出力端子	L AUDIO R OUTPUT	11ページ

インターネット接続について

端子		参照
LAN (10/100)端子	LAN (10/100)	11 ページ

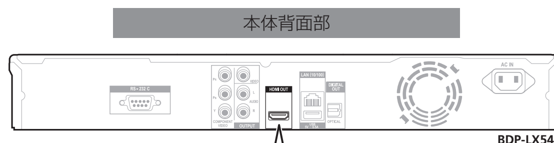
HDMIケーブルで接続する

- 1本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号でHDMI対応機器に伝送できます。
- 本機のHDMI出力端子から伝送できる音声については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください **(25ページ)**。
- HDMIによるコントロール機能を使うときはハイスピードHDMIケーブルをお使いください。それ以外のHDMIケーブルではHDMIによるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。

手順

1 機器を接続する前に、必ず電源をオフにしてください。
2 HDMI出力端子にHDMIケーブル(市販品)をしっかりと差し込んでください (①、②)。

本体背面部



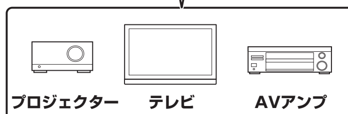
- HDMI出力端子からは、7.1チャンネル音声が出力されます。

① HDMI出力端子へ

HDMIケーブル(市販品)

② HDMI入力端子へ

HDMI IN



HDMI対応機器

お知らせ
- HDMI出力端子からは、DTS-HD High Resolution、DTS-HD Master Audioのビットストリームが出力されます。各音声フォーマットに対応しているAVアンプを接続することをお勧めします。

映像端子を設定する

HDMIケーブルとコンポーネントビデオケーブルの両方を接続したときは、[各種設定]－[映像・音声設定]－[映像出力選択]で、映像出力端子を設定してください(**21ページ**)。

お知らせ
- 本機とパイオニア製フラットテレビをHDMIケーブルで接続してフラットテレビの電源を入れると、映像出力は自動的にHDMIに切り換わります(上記の設定は必要ありません)。
- 本機とテレビをHDMIケーブルで接続したときは、[HDMI映像出力]を[オート]に設定してください **(21ページ)**。映像がきれいに映らないときは、出力解像度を変更してください。[HDMI映像出力]を[オート]以外に設定するときは、接続したテレビが対応している解像度だけ設定できます。
- 詳しくは「HDMI映像出力設定」をご覧ください **(21ページ)**。

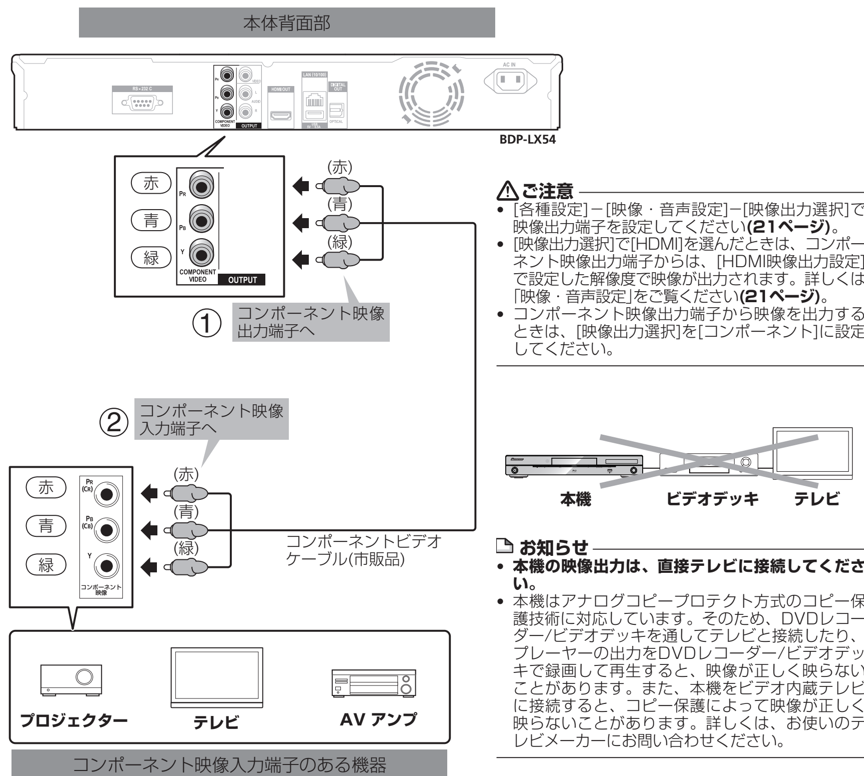
接続後にお読みください
- 必要に応じて、オーディオ機器と接続してください **(11ページ)**。
- ディスクのセット、再生については「再生する」をご覧ください **(14~17ページ)**。
- HDMIによるコントロール機能については**13、21ページ**をご覧ください。

コンポーネントビデオケーブルで接続する

コンポーネント映像出力端子から出力される高画質な映像をお楽しみいただけます。

手順

1. **機器を接続する前に、必ず電源をオフにしてください。**
2. **コンポーネント映像出力端子にコンポーネントビデオケーブル(市販品)をしっかりと差し込んでください** (①、②)。



⚠ ご注意

- [各種設定]−[映像・音声設定]−[映像出力選択]で映像出力端子を設定してください**(21ページ)**。
- [映像出力選択]で[HDMI]を選んだときは、コンポーネント映像出力端子からは、[HDMI映像出力設定]で設定した解像度で映像が出力されます。詳しくは「映像・音声設定」をご覧ください**(21ページ)**。
- コンポーネント映像出力端子から映像を出力するときは、[映像出力選択]を[コンポーネント]に設定してください。

お知らせ

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピー保護技術に対応しています。そのため、DVDレコーダー/ビデオデッキを通してテレビと接続したり、プレーヤーの出力をDVDレコーダー/ビデオデッキで録画して再生すると、映像が正しく映らないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピー保護によって映像が正しく映らないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

接続後にお読みください

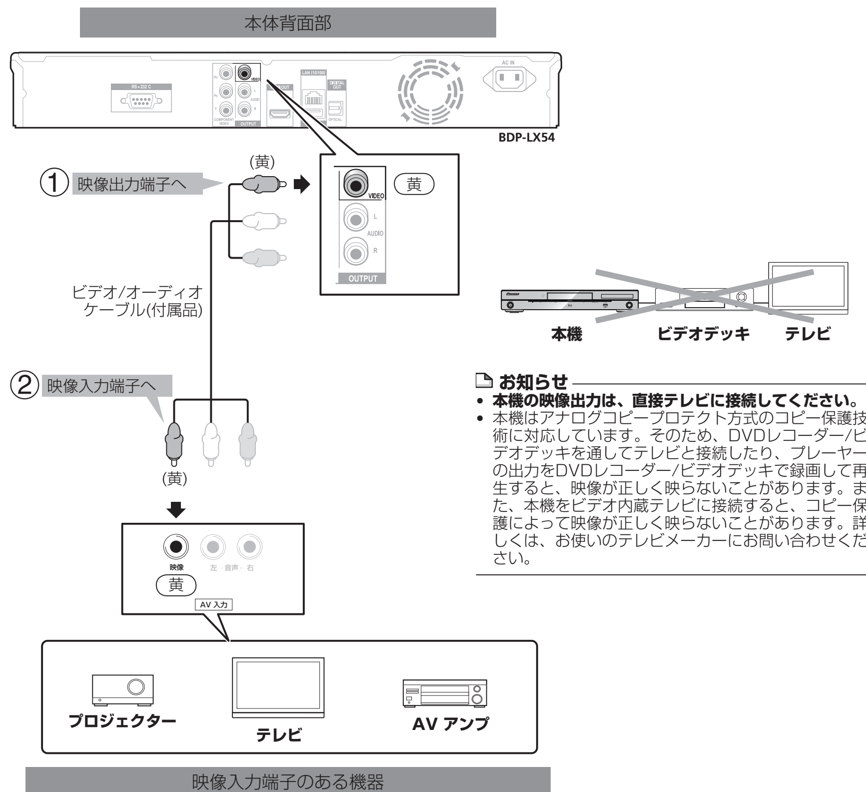
- オーディオ機器またはテレビの音声入力端子に接続するときは「光デジタル音声ケーブルまたはオーディオケーブルで接続する」をご覧ください **(11ページ)**。

ビデオケーブルで接続する

映像出力端子から出力される映像をお楽しみいただけます。

手順

1. **機器を接続する前に、必ず電源をオフにしてください。**
2. **映像出力端子にビデオ/オーディオケーブル(付属品)をしっかりと差し込んでください(①、②)。**



お知らせ

- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピー保護技術に対応しています。そのため、DVDレコーダー/ビデオデッキを通してテレビと接続したり、プレーヤーの出力をDVDレコーダー/ビデオデッキで録画して再生すると、映像が正しく映らないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピー保護によって映像が正しく映らないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

接続後にお読みください

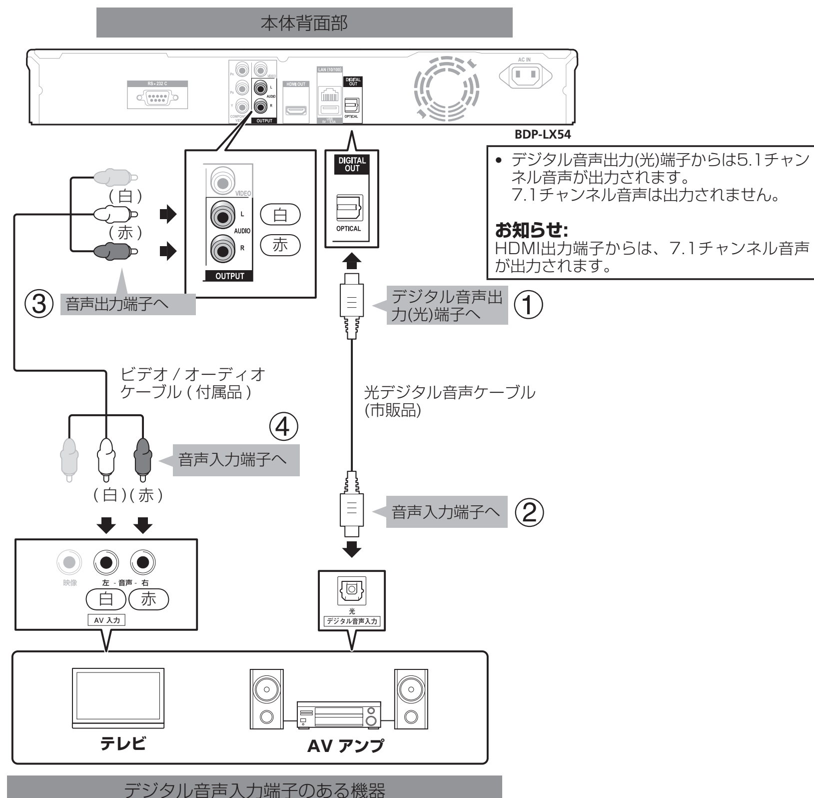
- オーディオ機器またはテレビの音声入力端子に接続するときは「光デジタル音声ケーブルまたはオーディオケーブルで接続する」をご覧ください **(11ページ)**。

光デジタル音声ケーブルまたはオーディオケーブルで接続する

- オーディオ機器またはテレビをデジタル音声出力(光)端子または音声出力端子に接続できます。
- 本機の出力端子から伝送できる音声については「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください **(25ページ)**。

手順

1. **機器を接続する前に、必ず電源をオフにしてください。**
2. **デジタル音声出力(光)端子または音声出力端子に、光デジタル音声ケーブル(市販品)またはビデオ/オーディオケーブル(付属品)をしっかりと差し込んでください(①、②または③、④)。**



- デジタル音声出力(光)端子からは5.1チャンネル音声が出力されます。
  7.1チャンネル音声は出力されません。

お知らせ:
HDMI出力端子からは、7.1チャンネル音声が出力されます。

接続後にお読みください

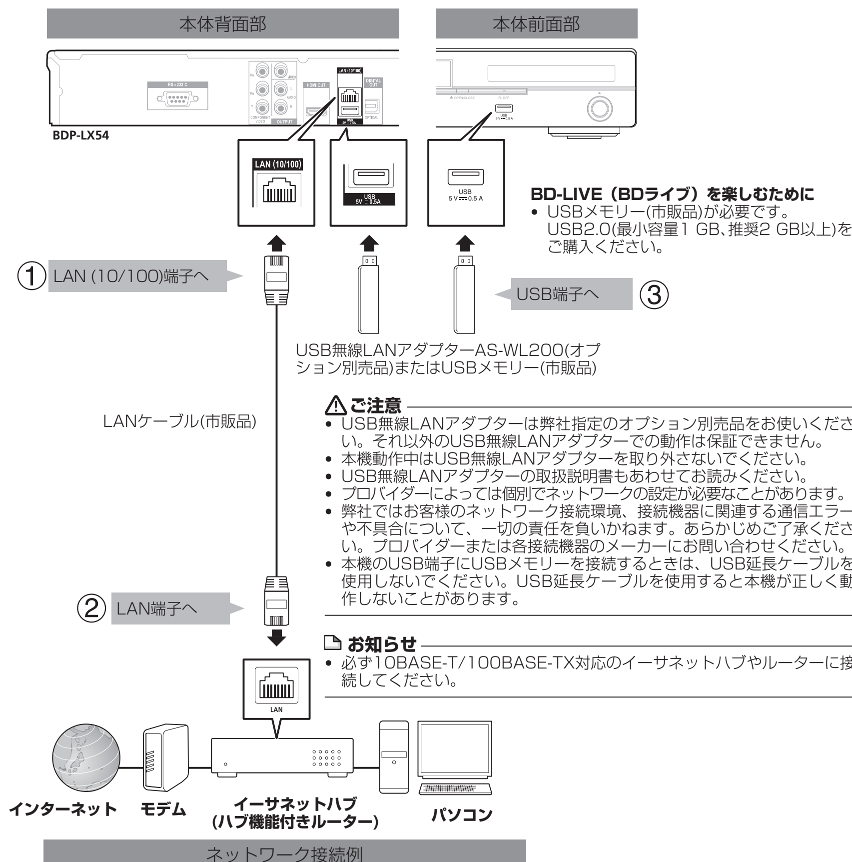
- ディスクのセット、再生については「再生する」をご覧ください **(14〜17ページ)**。

ネットワークに接続する

- インターネットを経由して、BD-LIVE機能を楽しんだり、本機のソフトウェアを更新できます。
- インターネットをお使いになるときは、下記の接続をしてください。
- インターネットをお使いになるときは、インターネットサービスを提供しているプロバイダーとの契約・料金が別途必要です。

手順

1. **機器を接続する前に、必ず電源をオフにしてください。**
2. **LAN (10/100)端子にLANケーブル(市販品)をしっかりと差し込む (①、②)、または本体背面部のUSB端子にUSB無線LANアダプターAS-WL200(オプション別売品)を差し込みます (③)。**
   無線LANアダプターは本体背面部のUSB端子に挿入してください。このときは、本体前面部にBD-LIVE用のUSBメモリーを接続してください。



BD-LIVE（BDライブ）を楽しむために
- USBメモリー(市販品)が必要です。
  USB2.0(最小容量1 GB、推奨2 GB以上)をご購入ください。

⚠ご注意
- USB無線LANアダプターは弊社指定のオプション別売品をお使いください。それ以外のUSB無線LANアダプターでの動作は保証できません。
- 本機動作中はUSB無線LANアダプターを取り外さないでください。
- USB無線LANアダプターの取扱説明書もあわせてお読みください。
- プロバイダーによっては個別でネットワークの設定が必要なことがあります。
- 弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関連する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接続機器のメーカーにお問い合わせください。
- 本機のUSB端子にUSBメモリーを接続するときは、USB延長ケーブルを使用しないでください。USB延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。

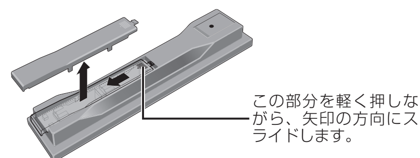
お知らせ
- 必ず10BASE-T/100BASE-TX対応のイーサネットハブやルーターに接続してください。

接続後にお読みください

- ネットワークの設定については「通信設定」をご覧ください **(22ページ)**。
- BD-LIVE機能とBDの再生については「再生する」をご覧ください **(14〜17ページ)**。

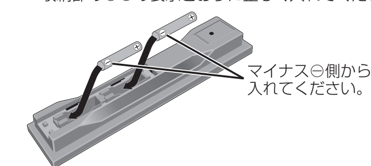
リモコンに電池を入れる

1 裏ぶたを開ける



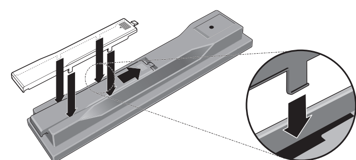
2 付属の乾電池〈単4形×2個〉を入れる

収納部の⊕⊖の表示どおりに正しく入れてください。



3 裏ぶたを閉める

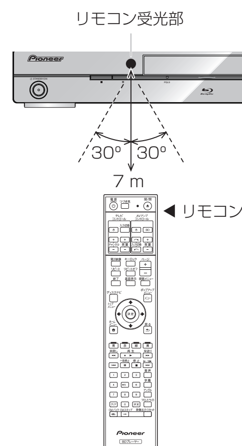
カチッと音がするまで確実に閉めてください。



⚠ご注意

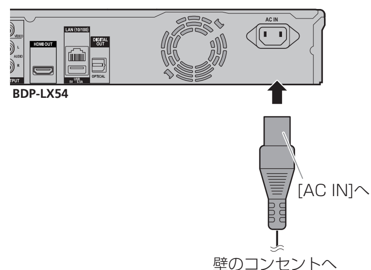
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコン内にセットする場合、極性表示(⊕極と⊖極)に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間(1カ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

リモコン操作可能範囲について

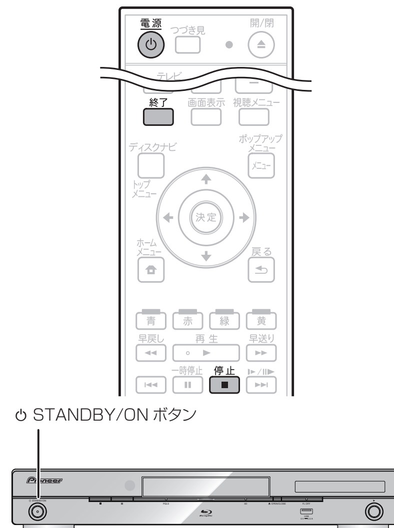


電源コードを接続する

電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。



電源をオンにする



⏻電源ボタンを押す

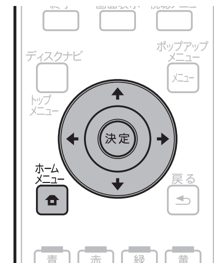
- リモコンまたは本体前面部のボタンで操作します。
- 本体表示窓に[POWER ON]と表示されます。
- ディスクがセットされていないときに電源をオンにすると、パイオニアのロゴ画面(壁紙)が表示されます。
- ディスクがセットされているときに電源をオンにすると、ディスクによっては自動でメニュー画面を表示するものがあります。**■停止ボタン**や**終了ボタン**を押すとディスクのメニュー画面が消え、壁紙が表示されます。

電源をオフにする

再度⏻電源ボタンを押す

- リモコンまたは本体前面部のボタンで操作します。
- 本体表示窓に[POWER OFF]と表示されます。
- 電源をオフにしたときは、すぐに⏻**電源ボタン**を押しても、本機は電源がオンになりません。このときは10秒以上経ってから、再度⏻**電源ボタン**を押してください。

言語設定



画面表示の言語を変更する

1 ホームメニューボタンを押す

ホームメニューが表示されます。



2 [各種設定]を選んで決定する

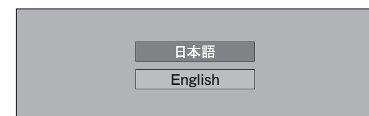
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3 [Language・表示言語設定]を選んで決定する

⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 言語を選んで決定する

⬆/⬇ ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。



お知らせ

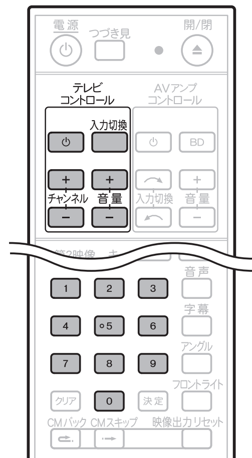
- DVDの字幕などの言語を選びたいときは、「ディスクメニューを使う」をご覧ください **(15ページ)**。

本機のリモコンでテレビを操作する

お使いのテレビのメーカーのメーカーコードを本機のリモコンに設定すると、本機のリモコンでお使いのテレビを操作できます。

ご注意

- メーカーコード表にあるメーカーのテレビでも、機種によっては操作できないことがあります。
- 電池を交換すると、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。このときは、設定し直してください。



1 2桁のメーカーコードを入力する

テレビコントロールの⏻**ボタン**を押しながら、**数字ボタン(0～9)**を押して入力します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は00(パイオニア)です。
- メーカーコードを間違えて入力したときは、テレビコントロールの⏻**ボタン**から指を放して始めから設定し直してください。
- 1つのメーカーに複数のメーカーコードがあるときは、操作できるまで順に設定してください。

2 テレビを操作できるか確認する

テレビコントロールボタンで操作します。

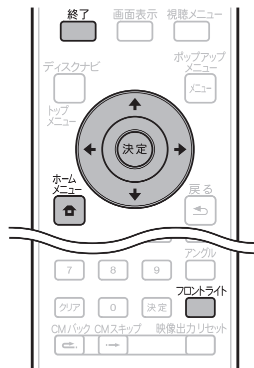
⏻ …テレビの電源をオン/オフにします。
入力切換 …テレビの入力を切り換えます。
チャンネル(+/−) …テレビのチャンネルを切り換えます。
音量(+/−) …テレビの音量を調節します。

メーカーコード表

メーカー	コード
パイオニア	00, 51
RCA	01, 15, 16, 17, 18, 61, 62
シャープ	02, 19, 27, 67, 90
ソニー	04
東芝	05, 26
日立	06, 24, 25, 33, 34, 54
Philips	07, 56, 68
パナソニック	08, 22
三菱	09
Goldstar	10, 23, 50
ビクター	13
サンヨー	14, 21, 45, 91
富士通ゼネラル	29
フナイ	40
NEC	59
アイワ	60
Samsung	44, 46, 69, 70
ユニデン	92

本体表示窓やインジケーターを消灯する

映画を見ていて本機のインジケーターが明るく感じるときは消灯できます (FL OFF インジケーターを除く)。



リモコンで操作する

フロントライトボタンを押す

押すたびに本体表示窓やインジケーターが点灯/消灯します。消灯しているときはFL OFFインジケーターのみが点灯します。

ホームメニューから操作する

1 **ホームメニューボタン**を押す

ホームメニューが表示されます。

2 [各種設定]を選んで決定する

⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

3 [動作設定]を選んで決定する

⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

映像･音声設定
動作設定
コントロール機能設定
再生設定
Language･表示言語設定
通信設定
システムバージョン表示
USBメモリー管理
ソフトウェアの更新
システム設定

4 [表示窓設定]を選んで決定する

⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

5 [点灯]または[消灯]を選んで決定する

⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

6 **ホームメニューボタン**または**終了ボタン**を押す

HDMIによるコントロール機能について

HDMIによるコントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビやAV機器(AVアンプなど)と本機をHDMIケーブルで接続すると、フラットテレビなどから本機を操作できます。
フラットテレビやAV機器(AVアンプなど)の取扱説明書もあわせてご覧ください。

HDMIによるコントロール機能を使うには

- HDMIによるコントロール機能は、HDMIケーブルで接続されているすべての機器のHDMIによるコントロール機能をオンに設定しているときに働きます。
- 接続および各機器の設定が終わったら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください(接続する機器を変更したり、HDMIケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、HDMIによるコントロール機能が正常に動作しないことがあります。
- HDMIによるコントロール機能を使うときはハイスピードHDMIケーブルをお使いください。それ以外のHDMIケーブルではHDMIによるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。
- 機器によってはHDMIによるコントロール機能が「KURO LINK」または「HDMIコントロール」と表記されていることがあります。
- 本機はHDMIで定められた標準コマンドで動作しますが、他社の機器の動作は保証できません。

HDMIによるコントロール機能でできること

- **HDMIによるコントロール機能に対応しているパイオニア製のフラットテレビに最適な画質での映像出力**
  HDMIによるコントロール機能が働いているときは、本機のHDMI出力端子から最適な画質の映像信号が出力されます。
- **テレビからの操作機能**
  フラットテレビから、本機の再生、停止、メニューの表示などの操作ができます。
- **オートセレクト機能**
  本機の再生を始める、またはホームメニューやディスクナビなどを表示すると、フラットテレビやAV機器(AVアンプなど)の入力が自動で切り換わります。入力が切り換わると、再生画面、ホームメニュー、またはディスクナビがフラットテレビに表示されます。
- **電源連動機能**
  本機の再生を始める、またはホームメニューやディスクナビなどを表示すると、フラットテレビの電源がオフだったときは、自動でオンになります。また、フラットテレビの電源をオフにすると、本機の電源も自動でオフになります(本機でディスクやファイルを再生しているとき、または本機の操作画面をフラットテレビに表示しているときは、自動でオフになりません)。

PQLS機能について

PQLS(Precision Quartz Lock System)とは、HDMIによるコントロール機能を使ったデジタル音声の伝送制御技術です。AVアンプの水晶発振器を使った高音質な再生を行うため、AVアンプから本機の送り出し信号を制御します。これにより、音質に悪影響を及ぼす、伝送時に発生するジッターの影響を除去できます。

- 本機は下記の機能に対応しています。
  - 音楽CD(CD-DA)を再生しているときだけ働く「PQLS 2chオーディオ」機能
  - すべてのディスク(BD、DVDなど)をリニアPCM音声出力で再生しているときに働く「PQLSマルチサラウンド」機能
  - ビットストリーム音声出力で再生しているときに働く「PQLSビットストリーム」機能
- PQLSの各機能は、PQLSの各機能に対応したパイオニア製AVアンプを、HDMIケーブルで本機のHDMI出力端子に直接接続して、本体設定を下記のように設定しているときに働きます**(21ページ)**。
  コントロール機能設定：する
  HDMI音声出力：PCM(PQLSマルチサラウンドのみ)
- AVアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- PQLS機能に対応するAVアンプについては、パイオニアホームページをご覧ください。

⚠ご注意

- 映像の出力解像度を切り換えると、PQLS機能が働かなくなることがあります。一度停止したあとに再生を開始するとPQLS機能が働きます。
- PQLS 2chオーディオ機能が働いているときは、本機の映像出力端子の映像が正しい色にならないことがあります。このときはテレビとAVアンプのHDMI端子を接続、またはテレビと本機のコンポーネント映像出力端子を接続して、映像をご覧ください。
- HDMI出力端子に接続したAVアンプの電源をオンにしてから、ディスクの再生を開始してください。

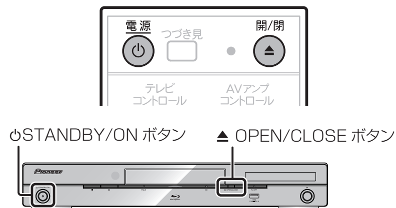
お知らせ

- PQLS機能が働いているときは、本体前面部のPQLSインジケーターが点灯します**(7ページ)**。

再生する

ここでは、映画などの市販BD/DVDビデオやCDの再生、BD-RE/-R、DVD-RW/-R、USBメモリーに記録された映像や音声の再生について説明します。

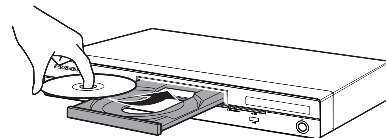
ディスクをセットする



1 電源をオンにする
⏻**電源ボタン**を押します。

2 ディスクトレイを開く
⏏ **開/閉ボタン**を押します。

3 ディスクトレイにディスクをセットする
- 印刷面を上にしてディスクをセットしてください。
- 両面が記録面のディスクのときは、再生したい面を下にしてディスクをセットしてください。



4 ディスクトレイを閉じる
⏏ **開/閉ボタン**を押します。

BD/DVDを再生する

BDビデオ　BD-RE　BD-R
DVD ビデオ　DVD-RW　DVD-R　AVCHD

本機はDVD再生時のアップスケーリングに対応しています**(31ページ)**。



1 ディスクをセットする
- ディスクトレイを閉めると、自動で再生を始めるディスクもあります。
- 最初のタイトルから再生が始まります。
- ディスクトレイを閉めると、自動でメニュー画面を表示するディスクもあります。メニュー画面の内容や操作方法は、ディスクによって異なります。

2 再生する
▶**再生ボタン**を押します。

お知らせ

- ディスクによって読み込みに時間がかかることがあります。

再生を停止するには

■停止ボタンを押す

停止した場所から再生する(つづき再生)

- 再生中に**■停止ボタン**を押すと、停止した場所を記憶します。▶**再生ボタン**を押すと停止した場所から再生します。
- つづき再生を解除するには、停止中に**■停止ボタン**を押してから、▶**再生ボタン**を押します(ディスクによっては働かないことがあります。このときはディスクトレイを開くか一度電源をオフにしてください)。

お知らせ

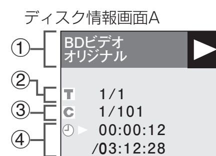
- 再生したい箇所を指定してつづき見再生をしたいときは、**19ページ**をご覧ください。
- つづき再生できないディスクもあります(BD-Jアプリケーション**(31ページ)**が含まれているBDビデオなど)。ディスクにBD-Jアプリケーションが含まれているかどうかは、ディスクメーカーにお問い合わせください。

ディスクの情報を見る



再生中に画面表示ボタンを押す
- 押すたびに下記のように画面が切り換わります。

ディスク情報画面A



ディスク情報画面B



表示しない

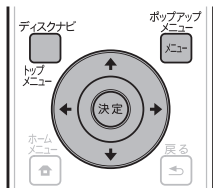
① ディスクの種類
② 再生中のタイトル番号/タイトルの合計数
③ 再生中のチャプター番号/チャプターの合計数
④ 再生経過時間/タイトルの合計時間

お知らせ

- ディスク情報画面Aは表示してから約1分間操作しないと自動で消えます。
- チャプター/タイトルの合計時間が表示されない市販のBDビデオもあります。

BD/DVDビデオをメニューから再生する

- ここでは、BD/DVDビデオのトップメニュー、ディスクメニュー、またはポップアップメニューからの再生について基本的な手順を説明します。
- ディスクによってメニューの名称、内容および操作が異なります。ディスクの説明書や画面表示に従って操作してください。
- ディスクメニューには、タイトルのリスト表示やディスクガイド(字幕や音声の設定など)があります。
- ディスクにメニューがないときは、**ディスクナビ/トップメニューボタン**および**ポップアップメニュー/メニューボタン**は働きません。



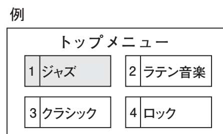
トップメニューを使う

BDビデオ　DVD ビデオ

1　トップメニューを表示する

ディスクナビ/トップメニューボタンを押します。

例



2　再生したいタイトルを選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 選んだタイトルが再生されます。

ディスクメニューを使う

DVD ビデオ

例： 字幕言語を選ぶ

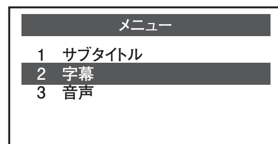
1　ディスクメニューを表示する

ディスクナビ/トップメニューボタンを押します。

2　[字幕]を選んで決定する

⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 字幕言語選択画面が表示されます。

例



3　言語を選んで決定する

⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4　ディスクメニューを終了する

ディスクナビ/トップメニューボタンを押します。

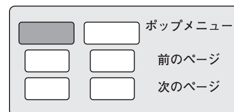
ポップアップメニューを使う

BDビデオ

1　ポップアップメニューを表示する

再生中に**ポップアップメニュー/メニューボタン**を押します。

例



2　項目を選んで決定する

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3　ポップアップメニューを終了する

ポップアップメニュー/メニューボタンを押します。
- ポップアップメニューが自動で終了するディスクもあります。

BONUSVIEW や BD-LIVEを楽しむ

BDビデオ

本機はBDビデオのBONUSVIEWやBD-LIVEに対応しています。
BONUSVIEW対応のBDビデオでは、第2映像(ピクチャーインピクチャー)、第2音声(セカンダリーオーディオ)などが楽しめます。BD-LIVE対応のBDビデオでは、インターネットを経由して、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできます。

BDビデオに記録されているデータやBD-LIVEからダウンロードしたデータは、USBメモリー（外部メモリー）に保存されます。これらの機能を楽しむときは、USB 2.0 High Speed(480 Mbit/s)対応のUSBメモリー(最小容量1 GB、推奨2 GB以上)を本体背面部のUSB端子に接続してください。無線LANアダプターを使用しているときの接続については「ネットワークに接続する」をご覧ください**(11ページ)**。また、BD-LIVE動作時は本体前面部のUSB端子に、USBメモリーを接続しないでください。

- USBメモリーの接続/取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- USBメモリーに保存されている情報を再生するときは、ダウンロードしたときに視聴していたディスクをセットしてください(他のディスクをセットしているときは、USBメモリーに保存されている情報を再生できません)。
- 他のデータが記録されたUSBメモリーを使用すると、映像や音声が正しく再生されないことがあります。
- 再生中にUSBメモリーを本機から取り外すと、再生が停止します。再生中はUSBメモリーを取り外さないでください。
- データの読み込み、書き込みに時間がかかることがあります。

⚠ご注意
- USBメモリーの空き容量が少ないと、BONUSVIEWやBD-LIVE機能が使えないことがあります。このときは「USBメモリーのデータを消去する」の手順で不要なデータを消去してください**(23ページ)**。

お知らせ
- 接続するUSBメモリーの動作保証はできません。
- BD-LIVE機能のデータなどの再生はディスクによって異なります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- BD-LIVE機能を楽しむには、ネットワークの接続と設定をしてください **(11、22ページ)**。
- BD-LIVE機能でインターネットに接続するときの制限については「BD-LIVE設定」をご覧ください**(21ページ)**。
- BD-LIVEは、自動でインターネットに接続して楽しむ機能です。BD-LIVE対応ディスクが、本機やディスクの識別信号(ID)をインターネット経由でコンテンツプロバイダーに送信することがあります。
- 自動でインターネットに接続しないように設定できます。設定方法については「BD-LIVE設定」をご覧ください **(21ページ)**。
- 本体前面部、本体背面部の両方のUSB端子にUSBメモリーを接続しているときは、先に接続したUSBメモリーをBONUSVIEWやBD-LIVE機能に使います。あとから接続したUSBメモリーをファイル再生やソフトウェア更新に使います。

第2映像を再生する

第2映像(ピクチャーインピクチャー)対応のBDビデオでは、第2映像を小画面で同時に再生できます。

1　第2映像を再生する

再生中に**第2映像ボタン**を押します。第2映像の状態が表示されます。再度**第2映像ボタン**を押すと、第2映像を再生します。



第１映像／音声　第２映像／音声

2　第2映像を消す

第2映像再生中に**第2映像ボタン**を押します。第2映像の状態が表示されます。再度**第2映像ボタン**を押すと、第2映像が消去されます。

お知らせ
- 第2音声を聞くときは、**25ページ**の「デジタルオーディオフォーマットの出力について」に合わせて、[音声出力設定]の設定をしてください **(21ページ)**。
- 第2映像/音声が自動で再生されるディスクもあります。また、再生できる箇所が限られていることもあります。

DVD-RW/-R、BD-RE/-Rを再生する

DVD-RW DVD-R BD-RE BD-R

レコーダーなどで録画したDVDやBDを再生できます。

1 ディスクをセットする
- ディスクトレイを閉めると、自動で再生が始まります。

お知らせ
- DVD-RW/-Rはファイナライズしたディスクだけ本機で再生できます。ファイナライズとは、録画したディスクを他のDVDプレーヤーなどで再生できるようにするレコーダーでの処理です(本機にはファイナライズ機能はありません)。

選んだタイトルを再生する

1 ホームメニューを表示する
再生停止中に**ホームメニューボタン**を押します。

2 [ディスクナビ]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

番組 1
5/21 (金) 午前9:30 110分
番組 1

1 番組 1	5/21	[金]	110 分
2 番組 2	6/15	[金]	110 分
3 番組 3	7/3	[月]	56 分
4 番組 4	9/18	[木]	40 分
5 番組 5	9/20	[土]	20 分
6 番組 6	9/25	[木]	60 分

1/全 8 タイトル▼
選択 ENTER 決定 戻る EXIT 終了 青 プレイリスト

- BDレコーダーで記録した再生に制限のあるディスクをセットすると、パスワード入力画面が表示されます。3回誤ったパスワードを入力すると、ディスクトレイが開きます。もう一度ディスクトレイを閉じて、正しいパスワードを入力してください。
- ディスクナビが表示されないときは、**ディスクナビ/トップメニューボタン**を押してください。

2 タイトルを選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- タイトルが7つ以上あるときは、**ページ+/−ボタン**を押して画面を切り換えてください。**⏮ボタン**または**⏭/II▶/I▶ボタン**を押しても切り換えられます。

3 再生を停止する
■停止ボタンを押します。

お知らせ
- ディスクナビは、停止中に**ディスクナビ/トップメニューボタン**を押す、またはホームメニューから[ディスクナビ]を選んで**決定ボタン**を押しても表示できます。

ディスクナビ画面

番組 1 ①
5/21 (金) 午前9:30 110分
番組 1

1 番組 1	5/21	[金]	110 分
2 番組 2	6/15	[金]	110 分
3 番組 3	7/3	[月]	56 分
4 番組 4	9/18	[木]	40 分
5 番組 5	9/20	[土]	20 分
6 番組 6	9/25	[木]	60 分

1/全 8 タイトル▼ ②
選択 ENTER 決定 戻る EXIT 終了 青 プレイリスト ③

① 選んだタイトルの情報
② タイトル名
録画した日付
録画時間
③ ボタンガイド

お知らせ
- 録画した日付は録画したタイトルが保持している情報であり、録画した機器によっては実際に録画(ダビング)した日付とは異なることがあります。

プレイリストで選んで再生する

1 プレイリストを表示する
ディスクナビ画面で**青ボタン**を押します。

2 再生する
再生したいタイトルを**⬆/⬇ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

3 再生を停止する
■停止ボタンを押します。

音楽CDを再生する

音楽 CD

すべてのトラックを再生する

1 音楽CDをセットする
- CD画面が表示されます(CD画面は、CD-DAフォーマットで記録されたディスクをセットしたときだけ表示されます)。
- 自動で再生が始まるディスクもあります。

Track01 0:00 5:16
視聴メニュー: 1/12, 00:00:11, 3 L+R, 切

♪	1	Track01	5:16
	2	Track02	5:10
	3	Track03	5:23
	4	Track04	5:03
	5	Track05	4:44
	6	Track06	5:08

で選択し 決定 を押す　視聴メニュー

2 再生する
▶再生ボタンを押します。

3 再生を停止する
■停止ボタンを押します。

停止した場所から再生する(つづき再生)

- 再生中に**■停止ボタン**を押すと、停止した場所を記憶します。**▶再生ボタン**を押すと停止した場所から再生します。
- つづき再生を解除するには、停止中に**■停止ボタン**を押してから、**▶再生ボタン**を押します(ディスクによっては働かないことがあります。このときはディスクトレイを開くか一度電源をオフにしてください。)。

お知らせ
- つづき再生できないディスクもあります。

トラックを選んで再生する

1 再生する
再生中または停止中に**⬆/⬇ボタン**でトラックを選んで**決定ボタン**を押します。

Track03 0:00 5:23
視聴メニュー: 3/12, 00:00:11, 3 L+R, 切

	1	Track01	5:16
	2	Track02	5:10
♪	3	Track03	5:23
	4	Track04	5:03
	5	Track05	4:44
	6	Track06	5:08

で選択し 決定 を押す　視聴メニュー

2 再生を停止する
■停止ボタンを押します。

視聴メニューを使う

1 視聴メニューを表示する
CD画面が表示されているときに、**黄ボタン**または**視聴メニューボタン**を押します。

Track03 0:00 5:23
視聴メニュー: 3/12, 00:00:11, 3 L+R, 切

	1	Track01	5:16
	2	Track02	5:10
♪	3	Track03	5:23
	4	Track04	5:03
	5	Track05	4:44
	6	Track06	5:08

で選択し 決定 を押す　で前の画面に戻る　トラック選択

2 メニューを選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 停止しているときは[Track]だけ選べます。
- 設定について詳しくは「設定できる機能について」をご覧ください **(20ページ)**。

3 設定を選んで決定する
⬆/⬇/⬅/➡ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 設定によって操作が異なります。画面の指示に従って操作してください。

4 視聴メニューを終了する
戻るボタンまたは**黄ボタン**を押します。

お知らせ
- ディスクによって表示される内容が異なります。

動画/音声/画像ファイルを再生する

BD-RE BD-R DVD-RW DVD-R CD-R CD-RW USB

第2映像 キーロック ページ リピート リピートオフ 終了 画面表示 視聴メニュー ディスクナビ ポップアップメニュー トップメニュー 決定 ホームメニュー 戻る 青 赤 緑 黄 早戻し 再生 早送り 一時停止 停止

お知らせ
- USBメモリーの接続/取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- 再生中はUSBメモリーを取り外さないでください。
- 下記のディスクがセットされているときは、USBメモリーのファイルは再生できません。ディスクを取り出してください。
  - BDMVまたはBDAVフォーマットのBD
  - VR、ビデオ、またはAVCHDフォーマットのDVD
  - 音楽用CD
- 再生できるファイルについて詳しくは「本機で再生できるディスク」**(4ページ)**、「ファイルについて」**(6ページ)**をご覧ください。
- 通常の画像ファイルの再生では画像を1枚ずつ再生し、スライドショーでは画像を自動で切り換えて再生します。

1 ホームメニューを表示する

ファイルの記録されたディスクやUSBメモリーをセットして**ホームメニューボタン**を押します。

2 [ディスクナビ](動画)、[ミュージック](音声)、または[フォト](画像)を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- ディスクまたはUSBメモリーのどちらか一方だけセットされているときは、手順4に進みます。

3 [BD/DVD/CD]または[USB Memory Device]を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 ファイルまたはフォルダーを選ぶ
- **↑/↓/←/→ボタン**でファイルを選びます。
- **↑/↓ボタン**でフォルダーを選んで**決定ボタン**を押すと、フォルダー内のファイルが表示されます。

5 ファイルを再生する

決定ボタンを押します。
- 再生中に**❚❚一時停止ボタン**を押すと、再生が一時停止します。再度**❚❚一時停止ボタン**または**▶再生ボタン**を押すと、再生が始まります。

6 ファイルを切り換える

❙◀◀ボタンまたは**▶▶❙/❙❙▶/❙▶ボタン**を押して前または次のファイルに切り換えます。
- 画像ファイルでは、**←/→ボタン**または**◀◀早戻し/▶▶早送りボタン**でも切り換えられます。また、**戻るボタン**を押すとファイル選択画面に戻ります。

7 再生を停止する

■停止ボタンを押します。

お知らせ
- 音声ファイルの再生中は、下記の機能は使用できません。
  - 早送り／早戻し
  - リピート機能
  - 視聴メニュー**(19ページ)**

音声ファイルの再生中にほかの音声ファイルを選んで再生する

1 ファイルを選ぶ

↑/↓ボタンを押します。

Music03.mp3 0:00 5:23
視聴メニュー 3/12 00:00:11 3 L+R

1	Music01.mp3	5:16
2	Music02.mp3	5:10
3	Music03.mp3	5:23
4	Music04.mp3	5:03
5	Music05.mp3	4:44
6	Music06.mp3	5:08

で選択し 決定 を押す

2 ファイルを再生する

決定ボタンを押します。
- 選んだファイルが再生されます。

画像を自動で切り換えて再生する（スライドショー）

1 ホームメニューを表示する

画像の記録されたディスクやUSBメモリーをセットして**ホームメニューボタン**を押します。

2 [フォト]を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- ディスクまたはUSBメモリーのどちらか一方だけセットされているときは、手順4に進みます。

3 [BD/DVD/CD]または[USB Memory Device]を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 フォルダーを選ぶ

5 ファイルを再生する

決定ボタンを押します。
- 一時停止するには**❚❚一時停止ボタン**を押します。**▶再生ボタン**を押すと停止した箇所から再生します。

6 再生を停止する

■停止ボタンを押します。
- 他のフォルダーをスライドショー再生したいときは**戻るボタン**を押します。

スライドショーの速度やリピート再生を設定する

1 設定画面を表示する

フォルダー選択画面で**黄ボタン**を押します。

2 [スライドショー速度]を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

スライドショー速度
リピート再生設定
普通

- スライドショーのスピードは[速め]、[普通]、[遅め]、または[ゆっくり]から選びます。

3 スピードを選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 [リピート再生設定]を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

スライドショー速度
リピート再生設定
する
しない

5 リピートの種類を選んで決定する

↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

6 設定画面を終了する

終了ボタンを押します。

再生

再生機能について

BDビデオ　BD-RE　BD-R
DVD ビデオ　DVD-RW　DVD-R　AVCHD
音楽 CD



お知らせ
- ディスクによっては働かない機能もあります。

早送り/ 早戻しする(サーチ)

再生中に◀◀早戻しまたは▶▶早送りボタンを押す

例：▶▶早送りボタンを押したとき
- 押すたびに速さが切り換わります。
- となりのタイトルへの早送り/早戻しはできません。タイトルの先頭または終わりで早送り/早戻しはキャンセルされ、通常の再生に戻ります。
- BD/DVDビデオの早送り/早戻し中に字幕は表示されません。

頭出しする(トラック)

再生中に|◀◀ボタンまたは▶▶|/II▶/I▶ボタンを押す

一時停止する

再生中にII一時停止ボタンを押す

コマ送り再生する

一時停止中に▶▶|/II▶/I▶ボタンを押す

お知らせ
- 音楽CDではコマ送り再生はできません。
- DVD-RW(VRフォーマット)以外のディスクでは、正しくコマ送り再生できないことがあります。
- コマ送り再生に対応していないBD/DVDビデオもあります。
- コマ戻し再生はできません。

スロー再生する

一時停止中に▶▶|/II▶/I▶ボタンを2秒以上押す
- **▶再生ボタン**を押すと通常の再生に戻ります。
- となりのタイトルへのスロー再生はできません。タイトルの終わりでスロー再生はキャンセルされ、通常の再生に戻ります。

お知らせ
- 音楽CDではスロー再生できません。
- 逆方向のスロー再生できません。

30秒先の映像にとばす(CMスキップサーチ)

再生中に ·→ CMスキップボタンを押す

10秒前の映像に戻す(CMバック)

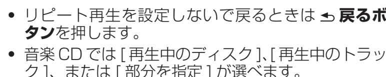
再生中に ⊂. CMバックボタンを押す

タイトルやチャプターを繰り返し再生する(リピート再生)

1 繰り返したいタイトルまたはチャプターを再生する

2 リピート画面を表示する
リピートボタンを押します。

3 リピート再生の種類を選ぶ
⬆/⬇ボタンを押します。
- 再生中のタイトル　：再生中のタイトルを繰り返します。
- 再生中のチャプター：再生中のチャプターを繰り返します。
- 部分を指定　　　　：指定した場面を繰り返します。



- リピート再生を設定しないで戻るときは ⮌ **戻るボタン**を押します。
- 音楽 CD では [再生中のディスク]、[再生中のトラック]、または [部分を指定] が選べます。

4 リピート再生を設定する
決定ボタンを押します。
例： タイトルリピート

BDビデオ
オリジナル
1/3
5/25
00:20:30
1日本語
1
1 5.1ch
入　タイトルリピート



5 通常の再生に戻す
リピートオフボタンまたは **リピートボタン**を押す。

指定した箇所を繰り返し再生する

DVD ビデオ　DVD-RW　DVD-R
音楽 CD

1 リピート画面を表示する
再生中に**リピートボタン**を押します。

2 [部分を指定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- [開始点指定]が表示されます。



3 繰り返し再生を始める箇所を指定する
決定ボタンを押します。
- [終了点指定]が表示されます。

4 繰り返し再生を終了する箇所を指定する
決定ボタンを押します。
- **◀◀早戻しボタン**、**▶▶早送りボタン**、**|◀◀ボタン**または**▶▶|/II▶/I▶ボタン**を押すと、終了箇所は設定できません。
- 通常の再生に戻すには**リピートオフボタン**または **リピートボタン**を押します。

お知らせ
- **▶▶|/II▶/I▶ボタン**を押すと、リピート再生をキャンセルして次のチャプター(トラック)を再生します(音楽CDを除く)。
- **|◀◀ボタン**を1回押すと、リピート再生をキャンセルして再生中のチャプター(トラック)の先頭に戻ります。
- **|◀◀ボタン**を5秒以内に続けて2回押すと、前のチャプター(トラック)の先頭に戻ります。
- 指定した箇所を繰り返し再生するときは、ひとつのタイトルの中で開始箇所と終了箇所を指定してください。
- リピート再生できないディスクもあります。
- BDビデオでは、指定した箇所を繰り返し再生できません。
- 指定した箇所の繰り返し再生は、マルチアングルのある場面では働かないことがあります。
- **画面表示ボタン**を押すと、リピート再生の設定が確認できます(音楽CDを除く)。

再生中の設定



音声を切り換える

音声ボタンを押す
表示される内容はディスクによって異なります。

BDビデオ　DVD ビデオ

再生している音声が表示されます。
複数の音声が記録されているときは、**音声ボタン**を押すたびに音声が切り換わります。

DVD-RW　DVD-R　BD-RE　BD-R

音声ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

二カ国語（二重音声）放送が録画されている場合：
- [主]、[副]、または[主　副]表示となります。

[ステレオ放送][モノラル放送]を録画した場合：
- [ステレオ]表示となります（音声切換はできません）。

お知らせ
- ステレオまたはモノラル音声のタイトルを再生するとき、またはデジタル音声出力(光)端子からドルビーデジタルなどのビットストリームを出力しているときは、音声は選べません。音声を切り換えたいときは[音声出力設定]を[PCM]に設定する(**21ページ**)、または音声出力端子の音声を聞いてください。
- 視聴メニュー画面でも音声を変更できます (**右記**)。
- ディスクのメニューで音声を切り換えるディスクもあります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 音声の表示は、5秒後に自動で消えます。

字幕を切り換える

複数の言語の字幕があるときは、字幕を切り換えられます。

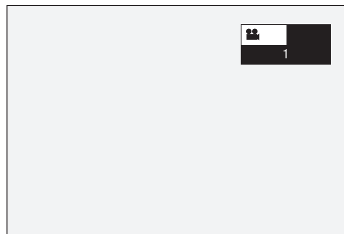
再生中に字幕ボタンを押す
- 再生中の字幕番号のあとに字幕が表示されます。
- **字幕ボタン**を押すたびに字幕が切り換わります。
- 字幕を表示させないときは[切]を選びます。

お知らせ
- 視聴メニュー画面でも字幕を変更できます (**右記**)。
- ディスクのメニューで字幕を切り換えるディスクもあります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- 字幕の表示は、５秒後に自動で消えます。

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されているときは、アングルを切り換えられます。

1 アングルを切り換える
再生中に**アングルボタン**を押します。
- 再生中のアングル番号が表示されます。**アングルボタン**を押すたびにアングルが切り換わります。



切り換える前のアングルに戻したいときは、戻るまで**アングルボタン**を数回押してください。

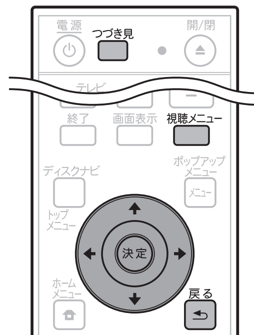
アングルマークを表示する

複数のアングルが収録されているときに、画面右下にアングルマークを表示できます。[各種設定]－[再生設定]－[アングルマーク表示]で設定を変更できます(**21ページ**)。

お知らせ
- 視聴メニュー画面でもアングルを変更できます (**右記**)。
- ディスクメニューでアングルを切り換えるディスクもあります。詳しくはディスクの取扱説明書をご覧ください。
- アングルの表示は、5秒後に自動で消えます。

視聴メニューを使う

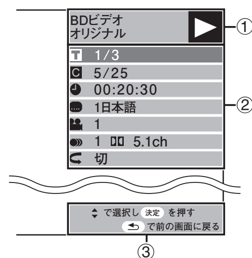
再生中に字幕、音声、アングルなどの設定や、再生するタイトルを選べます。BDとDVDで操作は同じです。



視聴メニューの操作

1 視聴メニュー画面を表示する
再生中に**視聴メニューボタン**を押します。

視聴メニュー画面



① **再生状態表示**
動作状態とディスクの種類を表示します。

② **設定項目**
再生するタイトル(トラック)またはチャプターを選んだり、字幕・音声・アングルを設定します。
- タイトル/トラック番号(ダイレクトタイトル/トラックスキップ)
- チャプター番号　(ダイレクトチャプタースキップ)
- 再生経過時間/つづき見再生指定時間(ダイレクトタイムスキップ)
- 字幕言語
- アングル番号
- 音声
- リピート

③ **操作ガイド表示**
リモコンボタンの機能を表示します。

2 設定したい項目を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 設定について詳しくは「設定できる機能について」をご覧ください (**20ページ**)。

3 設定を選んで決定する
↑/↓/←/→ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 設定によって操作が異なります。画面に従って操作してください。

4 視聴メニュー画面を閉じる
戻るボタンまたは**視聴メニューボタン**を押します。

お知らせ
- 選べるアングルや字幕がないときは、[- -]が表示されます。
- 表示される項目はディスクによって異なります。
- 視聴メニュー画面を表示すると、再生操作ができなくなることがあります。このときは視聴メニュー画面を閉じてください。

指定した箇所から続けて再生する (つづき見再生)

BDビデオ　BD-RE　BD-R
DVD ビデオ　DVD-RW　DVD-R

電源をオフにしても、次回再生するときに指定した箇所から続けて再生できます。

設定する

1 つづき見再生したい箇所を設定する
再生中に**つづき見ボタン**を押します。
- 画面右上に指定した箇所の再生経過時間が表示されます。

再生する

1 つづき見再生を設定したタイトルを再生する
- 視聴メニューが自動で表示されます。
- 再生中に**視聴メニューボタン**を押しても、視聴メニューを表示できます。

2 つづき見再生したい箇所から再生する
↑/↓ボタンを押して、つづき見再生指定時間を選んで**決定ボタン**を押します。
- 指定した箇所から再生が始まります。

お知らせ
- **≜開/閉ボタン**を押すと、つづき見再生の設定は解除されます。
- 正しくつづき見再生できないディスクもあります。

設定できる機能について

タイトル/トラック番号(ダイレクトタイトル/トラックスキップ)

- 再生しているタイトル番号(音楽CDのときはトラック番号)を表示します。タイトル(トラック)の頭出しができます。
- 選んだタイトル(トラック)の頭出しは、この項目にカーソルを合わせて**数字ボタン**でタイトル(トラック)番号を入力します。

チャプター番号(ダイレクトチャプタースキップ)

- 再生しているチャプター番号を表示します。チャプターの頭出しができます。
- 選んだチャプターの頭出しは、この項目にカーソルを合わせて**数字ボタン**でチャプター番号を入力します。

再生経過時間/つづき見再生指定時間(ダイレクトタイムスキップ)

- 再生しているタイトル(トラック)の再生経過時間を表示します。時間を指定して再生できます。
- つづき見再生が設定されているときは、指定した箇所の再生経過時間が表示されます。**ENTER**を押すと、指定した箇所から再生を始めます。
- **⬅/➡ボタン**で時、分、秒を選んで**⬆/⬇ボタン**を押す、または**数字ボタン**で時間を入力します。**決定ボタン**を押すと指定した時間から再生を始めます。



お知らせ
- **決定ボタン**：入力した数字を確定する
- **クリアボタン**：入力した数字を取り消す

字幕言語

- 選んでいる字幕言語を表示します。他の言語が記録されているときは、言語を切り換えられます。

アングル番号

- 選んでいるアングル番号を表示します。複数の映像が記録されているときは、映像を切り換えられます。

音声

- 選んでいる音声を表示します。お好みの音声に切り換えられます。

リピート

- 再生中のタイトル(チャプター)または指定した範囲を繰り返して再生できます。また、リモコンの**リピートボタン**でも操作できます。

お知らせ
- ディスクによって働かない機能もあります。

詳細設定

共通操作

「メニュー」では、リモコンを使って映像/音声のいろいろな設定や調整ができます。
詳細設定をするときはディスクを取り出してください。
本機の操作画面を表示して操作します。ここでは「メニュー」の基本操作を説明します。

例：[コントロール機能設定]の設定

① メニュー画面を表示する

HOME MENU
BD PLAYER
ディスクナビ
フォト
ミュージック
各種設定

ホームメニューボタンを押して、ホームメニューを表示します。
⬆/⬇ボタンで[各種設定]を選んで **決定ボタン**を押します。

② メニュー項目を選ぶ

⬆/⬇ボタンで[コントロール機能設定]を選んで**決定ボタン**を押します。

- 映像・音声設定
- 動作設定
- コントロール機能設定
- 再生設定
- Language・表示言語設定
- 通信設定
- システムバージョン表示
- USBメモリー管理
- ソフトウェアの更新
- システム設定

③ 次の項目を選ぶ

⬆/⬇/⬅/➡ボタンで項目を選んで**決定ボタン**を押します。

戻るボタンを押すと前のメニュー画面に戻ります。

④ メニュー画面を終了する

ホームメニューボタンまたは**終了ボタン**を押します。

再生設定の基本操作

例：[再生設定]の[視聴制限レベル]を設定する

1 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

2 [各種設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3 [再生設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 [視聴制限レベル]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 本機を最初に操作するときは、暗証番号設定画面が表示されます。下記の「最初にパスワードを設定するとき」をご覧ください。

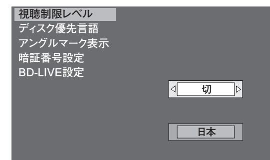
5 4桁のパスワードを入力する
数字ボタンを押します。
- 正しいパスワードを入力するまで次の画面に進めません。

暗証番号を入力してください。

最初にパスワードを設定するとき

① **⬆/⬇ボタン**で[する]を選んで**決定ボタン**を押して、パスワード設定画面に進みます。
② **数字ボタン**でパスワードに4桁の番号を入力して、確認のため同じ4桁の番号をもう一度入力します。
③ **決定ボタン**を押してパスワード設定を終了して、次の設定画面に進みます。

6 DVDビデオとBDビデオの視聴制限レベルと国コードを選んで決定する
各項目を**⬅/➡ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。
例. [視聴制限レベル]を[切]に設定するとき



7 ホームメニューを終了する
ホームメニューボタンまたは**終了ボタン**を押します。

お知らせ
- **太字**はお買い上げ時の設定です。

映像・音声設定

画面サイズ設定

接続したテレビの縦横比に合わせて映像出力を調整できます。
買い替えなどで接続したテレビの縦横比が変わったら、[画面サイズ設定]の設定も変更してください。

設定項目
ワイド 16：9 ：ワイド (16：9) テレビと接続しているときに選びます。
ノーマル 4：3 ：従来サイズ (4：3) のテレビと接続しているときに選びます。

<ノーマル 4:3を選んだとき>

設定項目
レターボックス ：4：3 の画面で見るときに 16：9 の映像の上下に黒い帯を入れて表示します。
パンスキャン ：16：9 の映像の左右をカットして全画面に表示します。4：3 の画面全体に映像を映して見るときに選びます。(ディスクに 4：3PS のラベルがあるときにこの機能は働きます。)

コンポーネント出力設定

コンポーネント映像出力の解像度を設定します。
テレビが本機の解像度に対応していないと、映像が正しく表示されないことがあります。このときはリモコンの**映像出力リセットボタン**を5秒以上上押してください。[コンポーネント出力設定]の設定が[480i](お買い上げ時の設定)に戻ります。

設定項目
1080i、720p、480p、**480i**

HDMI 映像出力設定

HDMI映像出力の解像度を設定します。
テレビが本機の解像度に対応していないと、映像が正しく表示されないことがあります。このときはリモコンの**映像出力リセットボタン**を5秒以上上押してください。[HDMI映像出力設定]の設定が[オート](お買い上げ時の設定)に戻ります。

設定項目
オート、1080p、1080i、720p、480p

お知らせ
1080 p/24 Hzの映像に対応したテレビに接続して[HDMI映像出力設定]を[オート]にしているときは、対応ディスクを再生すると自動で1080 p/24 Hzで表示されます。
1080 p/24 Hz、1080 p/60 Hzの映像は、コンポーネント映像出力端子と映像出力端子から出力されません。

映像出力選択

HDMI出力端子とコンポーネント映像出力端子の両方にテレビなどの映像機器を接続しているときに、どちらの映像出力を優先するか選びます。

設定項目
HDMI、コンポーネント

お知らせ
- 映像出力選択で優先設定された端子と同じ解像度でもう一方の端子からも出力されます。
- それぞれの端子に接続した映像機器が優先映像出力の解像度に対応していないときは、映像が正しく表示されないことがあります。
- [映像出力選択]で[コンポーネント]を選んでいるときは、[HDMI映像出力設定]は設定できません。

音声出力設定

接続したAVアンプなどへの音声出力を設定します。
- BD ビデオの第 2 音声を聞きたいときは、[PCM] または [ビットストリーム (ミックス)] を選びます。
- 音声出力について詳しくは、「デジタルオーディオフォーマットの出力について」をご覧ください (27 ページ)。

設定項目
PCM、ビットストリーム(ミックス)、ビットストリーム

お知らせ
- 接続した機器に合わせて音声出力を設定してください。正しく設定しないと、音が出ない、またはノイズが出ることがあります。
- AV レシーバーやテレビなどの HDMI 機器が、ドルビーデジタルや DTS の圧縮音声に対応していないときは、PCM 音声が出力されます。
- DVD ビデオには、第 2 音声およびインタラクティブオーディオはありません。
- この設定はデジタル音声出力 (光) 端子および AV レシーバーに接続した HDMI 出力端子の音声にのみ有効です。音声出力端子およびテレビに接続した HDMI 出力端子の音声には働きません。
- MPEG ファイルは、この設定に関わらず PCM 音声で出力されます。

音声出力レベル

ダイナミックレンジコントロールには、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、映画のセリフなどが聞きづらいときや深夜に映画を見るときなどに設定を調整します。

設定項目
ノーマル ：記録されたままの音声で再生します。
シフト* ：ドルビーデジタル音声を再生するときに、セリフが聞きやすくなるように調整します(音声が正常に聞こえないときは[ノーマル]に設定してください)。
オート ：ドルビーTrueHD音声を再生するときに、音声を自動で調整します。

* 大きな音が出たり、過大な信号がスピーカーに入力される可能性があるため、設定の前にボリュームを下げてください。

動作設定

無操作オフ設定

再生が終了して約10分後に自動で本機の電源をオフにするか設定します。

設定項目
する、**しない**

表示窓設定

映画を見ていて本機のインジケーターが明るく感じるときは消灯できます(FL OFFインジケーターを除く)。

設定項目
点灯、消灯

コントロール機能設定

HDMIケーブルで接続している機器のコントロール機能を設定します。

設定項目
する ：HDMI ケーブルを使って接続しているフラットテレビのリモコンで本機を操作するときに選びます。PQLS 機能もオンになります。
しない ：コントロール機能を使わないときに選びます。

お知らせ
- 詳しくは「HDMIによるコントロール機能について」をご覧ください (**13ページ**)。
- [映像出力選択]で[コンポーネント]を選んでいるときは、HDMIによるコントロール機能は働きません。[映像出力選択]で[HDMI]を選んでから、再度[コントロール機能設定]を[する]に設定してください。

再生設定

視聴制限レベル

BDビデオおよびDVDビデオでは、ディスクの内容によって視聴制限を設定できます。設定できる視聴制限レベルは下記のとおりです。
視聴制限レベルと国コードの設定の前に、4桁の暗証番号の入力が必要です。暗証番号を決めていなかったり入力しなかったりすると、視聴制限レベルと国コードは設定できません。

視聴制限レベルの設定項目
8、切 ：すべてのディスクを制限無しで再生できます。
1～7 ：ディスクの設定に従って、再生が制限されます。

国コードの設定項目
国 / 地域コードを選びます。国 / 地域によって、設定が異なります。

お知らせ
- 詳しくは「再生設定の基本操作」をご覧ください (**20 ページ**)。

ディスク優先言語

字幕、音声、メニュー画面の言語を設定します。

字幕の設定項目
字幕の言語を選びます。

音声の設定項目
音声の言語を選びます。

メニューの設定項目
メニューの言語を選びます。

アングルマーク表示

マルチアングルのBD/DVDビデオを再生するときに、アングルマークを表示する/表示しないを設定します(アングルマークは画面右上に表示されます)。

設定項目
する、**しない**

暗証番号設定

視聴制限レベルを設定/変更するときの暗証番号を設定します。

設定項目
する： 4 桁の番号を入力します。
しない

お知らせ
- 暗証番号を忘れたときは、[各種設定] – [システム設定] – [設定リセット] で現在の暗証番号をリセットしてください (**22 ページ**)。
- 新しい暗証番号も設定できます。

BD-LIVE 設定

BD-LIVE機能のインターネット接続を制限できます。

設定項目	設定内容
許可する	すべてのディスクを許可します。
条件付き許可	安全性が確認できたディスクのみ許可します。
禁止する	すべてのディスクを禁止します。

お知らせ
- ディスクによって働く機能が異なります。
- BD-LIVE などの再生方法は BD の取扱説明書をご覧ください。
- BD-LIVE 機能を楽しむには、インターネットの接続 (**11 ページ**) と設定 (**22 ページ**) が必要です。
- BD-LIVE 設定は、[暗証番号設定] を設定した場合のみ設定できます。

再生

詳細設定

インターネット設定

ウェブコンテンツの視聴制限ができます。

設定項目	設定内容
許可する	ウェブコンテンツへのアクセスを許可します。
条件付き許可	ウェブコンテンツへアクセスするたびに、パスワード入力が必要になります。
禁止する	ウェブコンテンツへのアクセスを禁止します。

お知らせ

- ウェブコンテンツを楽しむには、インターネットの接続 **(11 ページ)** と設定 **(右記)** が必要です。
- [インターネット設定] を変更するには、[暗証番号設定] **(21 ページ)** が必要です。

3D モード

3Dディスクの再生方法を設定します。

設定項目

オート: 3Dディスクのときは3D映像で再生します。[映像･音声設定]の設定に関わらず、3D伝送を優先した解像度設定で映像を再生します。
2D: 3Dディスクも2D映像で再生します。

お知らせ

- 3D映像を再生しているときは、本体前面部の3Dインジケーターが点灯します **(7ページ)**。
- 画面が切り換わるときやお使いのTVによっては、映像が2Dになることがあります。
- 3Dディスクの種類によっては、[2D]に設定されているまたは3D非対応機器と接続されていると、再生できないことがあります。
- 録画したサイドバイサイドの素材を3D視聴するには、お使いのTV側で3D設定を合わせる必要があります。このときは本機のOSDが正しく表示されません。

3D 注意文

3Dディスクを再生するときに注意文を表示する/しないを設定します。

設定項目

はい、いいえ

システムバージョン表示

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。
http://pioneer.jp/support/

システム設定

設定リセット

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

設定項目

リセットする、**リセットしない**

DivX 登録コード

本機のDivX登録コードを表示します。

DivX 登録解除コード

本機のDivX登録解除コードを表示します。

お知らせ

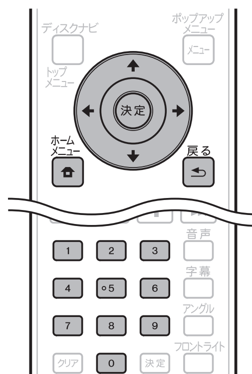
- DivXビデオオンデマンド(VOD)で映画を購入して再生するには、本機の登録コードが必要です。登録コードは[DivX登録コード]で確認してください。登録について詳しくは、vod.divx.comをご覧ください。
- 著作権保護されたDivXファイルを再生するときは、HDMI出力端子をテレビと接続してご覧ください。
- [映像出力選択]で[HDMI]を選んでいるときは、映像出力端子およびコンポーネント映像出力端子から映像は出力されません。
- [映像出力選択]で[コンポーネント]を選んでいるときは、ファイルの再生が停止することがあります。このときは[コンポーネント出力設定]を[480i]または[480p]に設定してください。

通信設定

インターネットに接続すると、BD-LIVE機能を楽しんだり、本機のソフトウェアの更新ができます。ここではネットワークの設定方法を説明します。
インターネットへの接続には、LANケーブルを使用して接続する方法と、USB無線LANアダプターをUSB端子に差し込んで接続する方法があります。

お知らせ

- LANケーブルまたはUSB無線LANアダプターが正しく接続されていることを確認してください **(11ページ)**。
- USB無線LANアダプターを本体前面部と本体背面部の両方に接続したときは、あとから接続した方のUSB無線LANアダプターを使用します。
- 接続する無線LANアクセスポイントの下記の情報を事前に確認してください。
  – 暗号化の種類、暗号化キー
  – SSID(ネットワーク名)
- 手動で本機の設定をするときは、接続するルーターまたはモデムの下記の情報を事前に確認してください。
  – IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS IPアドレス
- プロキシサーバーを使用しているときは、ネットワークに接続できません。



接続方法を選ぶ

1 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

2 [各種設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3 [通信設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 [有線/無線 選択]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

5 接続方法を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 有線：LANケーブルを使ってネットワークに接続するときに選びます。
- 無線：USB無線LANアダプターを使ってネットワークに接続するときに選びます。

通信設定を変更する

1 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

2 [各種設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3 [通信設定]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 変更したい接続方法を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- LAN設定(有線)：LANケーブルを使ってネットワークに接続するときの設定を変更します。
- LAN設定(無線)：USB無線LANアダプターを使ってネットワークに接続するときの設定を変更します。

5 [変更する]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

[現在の設定]
IP アドレス ：自動設定
ネットマスク ：自動設定
ゲートウェイ ：自動設定
DNS ：自動設定
変更する
初期化する

- 現在の設定を初期化するには、[初期化する]を選んで**決定ボタン**を押してください。
- 手順4で[LAN設定(有線)]を選んだときは、手順10に進みます。

6 アクセスポイントを選ぶ
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

7 暗号化の種類を設定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- [OPEN]を選んだときは手順9へ進みます。
- [WEP]、[WPA]、または[WPA2]のいずれかを選んだときは暗号化キーを入力します。[security key]を選んで**決定ボタン**を押します。文字の入力方法は**23ページ**をご覧ください。

8 [次へ]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

9 接続をテストする
決定ボタンを押します。

10 IPアドレスを設定する
⬅/➡ボタンで[する]または[しない]を選んで**決定ボタン**を押します。

IP アドレスを自動で取得しますか？
する　しない
IP アドレス — . — . — . —
ネットマスク — . — . — . —
ゲートウェイ — . — . — . —
次へ

- する ：自動でIPアドレスを取得します。
- しない：IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリとセカンダリのDNS IPアドレスを手動で入力します **(23ページ)**。

11 [次へ]を選んで決定する
⬆/⬇ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

12 インターネットの接続をテストする
⬅/➡ボタンで[テスト実行]を選んで**決定ボタン**を押します。
- IPアドレスを自動で取得したときだけテストできます。IPアドレスを手動で設定したときは[テスト実行]は選べません。

設定の内容を確認してください。
IP アドレス ：xxx xxx xxx xxx
ネットマスク ：xxx xxx xxx xxx
ゲートウェイ ：xxx xxx xxx xxx
DNS アドレス：xxx xxx xxx xxx
MAC アドレス：xx:xx:xx:xx:xx:xx
テスト実行　完了

- テストでインターネット接続が失敗したときは、手動で設定してください。

13 設定を終了する
⬅/➡ボタンで[完了]を選んで**決定ボタン**を押します。

文字を入力する

リモコンの**数字ボタン**または ⬅/➡ **ボタン**と**決定ボタン**を使って、IP アドレスなどの数字を入力します。

IP アドレス 123 . . .
ネットマスク . . .
ゲートウェイ . . .

1 文字入力画面を表示する
文字を入力したい項目にカーソルを移動して **決定ボタン**を押します。

数字半角
編集
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

⬆/⬇**ボタン**で選ぶ
⬅/➡ **ボタン**で選ぶ

2 入力モードを選ぶ
⬆/⬇**ボタン**で選びます。

3 文字を選んで決定する
数字ボタンを押す、または⬅/➡**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

4 すべての文字を入力する
手順3を繰り返します。

例：数字入力画面

数字半角
編集
123
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

お知らせ
- ⮌ **戻る(文字消去)ボタン**を押すと入力した文字を消去します。
- 入力した文字を変更するときは、**緑(右へ)ボタン**または**赤(左へ)ボタン**で変更したい文字を選び、⮌ **戻る(文字消去)ボタン**を押してから、⬅/➡**ボタン**で入力したい文字を選んで**決定ボタン**を押します。

5 文字を入力した項目を確定する
黄(入力完了)ボタンを押します。

IP アドレス 123 . . .
ネットマスク . . .
ゲートウェイ . . .

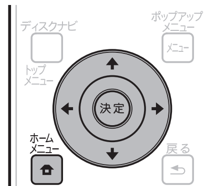
6 すべての項目を入力する
手順1から5を繰り返します。

入力文字一覧

数字半角	1234567890
編集	入力取消 / 左へ / 右へ / 入力完了 / 文字消去 * **青/赤/緑/黄ボタン**と ⮌ **戻るボタン**で、各項目を選んで**決定ボタン**を押すのと同じ操作ができます。 [文字消去]で文字を消去します。

USBメモリー管理

USBメモリーに記録されているBD-LIVEからダウンロードしたデータなどを削除します。



USB メモリーを使う前に

ご注意：
- [USB メモリー管理] または [ソフトウェアの更新] の操作中に USB メモリーを取り外したり、電源コードを抜かないでください。
- 本機の USB 端子に USB メモリーを接続するときは、USB 延長ケーブルを使用しないでください。USB 延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。

お知らせ：
- 接続する USB メモリーの動作保証はできません。
- FAT32/16 でフォーマットされた USB メモリーに対応しています。お手持ちのパソコンで USB メモリーをフォーマットする際には、下記の設定でフォーマットしてください。
  ファイルシステム : FAT32
  アロケーションユニットサイズ :
  標準のアロケーションサイズ

1 USBメモリーを接続する
- USBメモリーの接続/取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- 本体前面部または本体背面部のUSB端子に接続します。
- 両方の端子にUSBメモリーを接続したときは、先に接続した方のUSBメモリーのデータのみ消去されます。

2 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

3 [各種設定]を選んで決定する
⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

4 [USBメモリー管理]を選んで決定する
⬆/⬇**ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。
- [USBメモリー管理]画面が表示されます。
- [USBメモリーが接続されていません]が表示されるときはUSBメモリーが接続されていません。

5 確認画面を表示する
決定ボタンを押します。BDビデオのデータだけ消去します。
- すべてのデータ、またはソフトウェアを更新したあとに更新ファイルだけを消去するときは、パソコンを使って消去してください。

6 データを消去する
⬆/⬇**ボタン**で[する]を選んで**決定ボタン**を押します。

する
しない

- 消去中の画面が表示されます。終了すると下記の画面が表示されます。

完了しました。
確認

7 データ消去を終了する
決定ボタンを押します。

お知らせ
- 本機の内部メモリーに保存されたデータ(ゲームスコアなど)も削除されます。

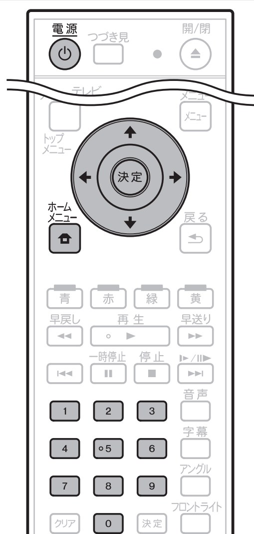
ソフトウェアの更新

本機は下記の方法でソフトウェアを更新できます。
- ネットワークを使用した更新
- USBメモリーを使用した更新

ネットワークを使用した更新では、あらかじめ下記の設定をしておく必要があります。
本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。
http://pioneer.jp/support/

お知らせ
- LANケーブルまたはUSB無線LANアダプター、USBメモリーが正しく接続されているか確認してください(**11ページ**)。
- [通信設定]を正しく設定してください (**22ページ**)。
- ネットワークの接続状況やその他の理由により、更新ファイルをダウンロードするのに時間がかかることがあります。

ご注意
- 更新ファイルのダウンロード中やソフトウェアの更新中にLANケーブルまたはUSB無線LANアダプター、USBメモリーを抜いたり電源コードを抜かないでください。
- ソフトウェアの更新中に他の操作はできません。また、更新中は中止できません。
- 本体表示窓を消灯させているときは、**フロントライトボタン**で本体表示窓を点灯させてください。本体表示窓を消灯させたまま本機のソフトウェアを更新するときは、FL　OFFインジケーターが消灯するまで電源コードを抜かないでください。



ネットワークを使用した更新

ネットワークに接続して新しいソフトウェアがないか確認します。

1 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

2 [各種設定]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

3 [ソフトウェアの更新]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 右のメニューにカーソルを移動する
決定ボタンを押します。

5 [ネットワーク]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
画面に「アクセスしています」と点滅して表示されます。新しいソフトウェアが見つかると、本機のソフトウェアのバージョンと新しいソフトウェアのバージョンが表示されます。
- すでにソフトウェアが最新のものに更新されているときは、その内容をお知らせする画面が表示されます。

6 [する]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- ソフトウェアの更新が始まります。
- ソフトウェアの更新が完了すると、更新完了の画面が表示されます。**決定ボタン**を押すと、自動で再起動します。
- ソフトウェアの更新に失敗したときは、エラーメッセージが表示されます。LANケーブルやUSB無線LANアダプターが正しく接続されていることと通信設定を確認して、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

USBメモリーを使用した更新

本体前面部のUSB端子に更新用ファイルの記録されたUSBメモリーを接続して、本機のソフトウェアを更新します。

お知らせ
- 更新用ファイルが弊社ホームページで公開されているときは、お手持ちのパソコンで USB メモリーにダウンロードしてください。更新用ファイルのダウンロードについては、弊社ホームページに記載された説明をよく読んでください。
- 本機は FAT32/16 でフォーマットした USB メモリーに対応しています。お手持ちのパソコンで USB メモリーをフォーマットするときは、下記の設定でフォーマットしてください。
ファイルシステム : FAT32
アロケーションユニットサイズ : 標準のアロケーションサイズ
- 更新用ファイルは USB メモリーのルートディレクトリに保存してください。フォルダーの中には保存しないでください。
- USB メモリーには更新用ファイル以外のファイルは入れないでください。
- USB メモリーに保存する更新用ファイルは最新のもの一つだけにしてください。
- USB メモリーを本機に接続するときは、USB 延長ケーブルを使用しないでください。USB 延長ケーブルを使用すると本機が正しく動作しないことがあります。
- ソフトウェアを更新するときは、ディスクトレイからディスクを取り出してください。

1 USBメモリーを接続する
- USBメモリーの接続/取り外しのときは、本機の電源をオフにしてください。
- 必ず本体前面部のUSB端子に接続してください。本体前面部と本体背面部の両方にUSBメモリーを接続しているときは、本体前面部のUSBメモリーを接続し直してください。
- 更新用ファイルが見つかると、本機のソフトウェアのバージョンとUSBメモリーに記録された更新用ファイルのバージョンが表示されます。手順9に進みます。

2 ホームメニューを表示する
ホームメニューボタンを押します。

3 [各種設定]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

4 [ソフトウェアの更新]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。

5 右のメニューにカーソルを移動する
決定ボタンを押します。

6 [USBメモリー]を選んで決定する
↑/↓ボタンで選んで**決定ボタン**を押します。
- 暗証番号を設定していないときは手順８に進みます。

7 4桁の暗証番号を入力する
数字ボタン(0〜9)を押します。

暗証番号を入力してください。
・ ・ ・ ・

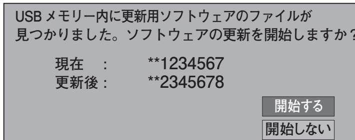
8 USBメモリーのデータをチェックする
決定ボタンを押します。

更新用ソフトウェアのファイルをコピーした
USB メモリーを接続してください。
確認

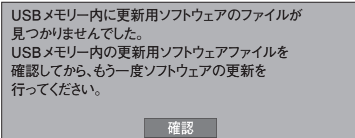
- チェック中に下記の画面が表示されます。

USB メモリーを確認しています。
確認中

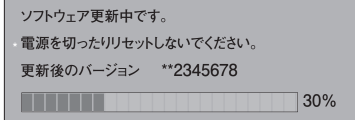
9 ソフトウェアのバージョンを確認する
- 本機のソフトウェアを更新するときは、[開始する]を選んで**決定ボタン**を押します。
- 本機のソフトウェアを更新しないときは、USBメモリーを取り外してください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。
- [開始しない]を選んだとき、またはバージョンの確認画面が閉じてしまったあとにソフトウェアを更新したいときは、手順2に戻ります。



- USBメモリーが正しく認識できない、またはUSBメモリーに更新用ファイルがないときは、エラーメッセージが表示されます。USBメモリーのファイルを確認してから、再度USBメモリーを正しく接続してください。



10 ソフトウェアを更新する
決定ボタンを押します。



11 更新が正常に終了したか画面で確認する
- 更新に失敗したらUSBメモリーのファイルを確認して、再度手順1から試してください。

12 USBメモリーを取り外す
- 自動で再起動します。画面に指示が表示されているときは、その指示に従って操作してください。

デジタルオーディオフォーマットの出力について

設定	変換方法	出力端子	音声の種類						
			PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TrueHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
PCM	第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換して、同時に出力します。	HDMI OUT	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch
		OPTICAL	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM 2ch	PCM	PCM 2ch	PCM 2ch
ビットストリーム(ミックス)	第1音声、第2音声、インタラクティブオーディオをPCM音声に変換してから、DTS音声に再変換して同時に出力します。	HDMI OUT/ OPTICAL	DTS	DTS	DTS	DTS	DTS	DTS 5.1ch	DTS 5.1ch
ビットストリーム	第1音声(映画などのメインの音声)だけを出力します。第2音声、インタラクティブオーディオは出力できません。	HDMI OUT	PCM	Dolby Digital	Dolby Digital Plus	Dolby TrueHD	DTS	DTS-HD HR	DTS-HD MA
		OPTICAL	PCM 2ch	Dolby Digital	Dolby Digital	Dolby Digital	DTS	DTS-ES 5.1ch	DTS-ES 5.1ch

BDビデオには3つの音声が記録されています。
- 第1音声：メインになる音声です。
- 第2音声：映画の監督や俳優のコメントなど、付録で追加された音声です。
- インタラクティブオーディオ：操作したときのクリック音などの音声です。
- インタラクティブオーディオはディスクによって異なります。

ライセンス

ここでは、本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保持するため、原文(英語)を記載しています。
本製品は、GNU General Public License の条件にもとづいて利用が許諾されたソフトウェアを含んでいます。該当するソースコードの複製物は配布に必要な費用をご負担いただくことでご入手いただけます。
複製物を入手するためには、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
また、GNU General Public License の詳細についてはGNUのウェブサイトをご覧ください(http://www.gnu.org)。

- **GNU GENERAL PUBLIC LICENSE and GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE**

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU General Public License v2, GNU Lesser General Public License v2.1 or LGPL v2.0.
– linux kernel 2.6. Copyright (C) 1991 Linus Torvalds. Licensed under GPLv2.
– bash-2.05. Copyright (C) 2005 Free Software Foundation, Inc. Licensed under GPLv2.
– libsysfs-2.1.0. Copyright (C) IBM Corp. 2003. Licensed under GPLv2.
– BusyBox v1.2.1 multi-call binary. Copyright (C) 1998-2009 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. Licensed under GPLv2.
– uClibc-0.9.29. Copyright (C) 1999-2008 by Erik Andersen. Licensed under LGPLv2.0.
– DirectFB-0.9.13. (C) Copyright 2000-2002 convergence integrated media GmbH. (C) Copyright 2002 convergence GmbH. Licensed under LGPLv2.1.
– libusb-0.1.12. Copyright (C) 2000-2003 Johannes Erdfelt. Copyright (C) 2003 Brad Hards. Licensed under LGPLv2.1.

You can get corresponding open source code by contacting your local Pioneer Customer Support Center.

NO WARRANTY

BECAUSE THE ABOVE PROGRAMS ARE LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAMS, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING, THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAMS “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAMS IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAMS PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.
IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAMS AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAMS (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAMS TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.
Please refer to each license for further information (www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html, www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html, and www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.html).

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991
Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software - to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation’s software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.
When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.
To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.
For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.
We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.
Also, for each author’s protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors’ reputations.
Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone’s free use or not licensed at all.
The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The “Program”, below, refers to any such program or work, and a “work based on the Program” means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language.(Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification”.) Each licensee is addressed as “you”.
Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program’s source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.
You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)
These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms,

do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:
   a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
   c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

   The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

   If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

   If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>
This program is free software; you can redistribute it and/ or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items - whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software - to make sure the software is free for all its users. This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages - typically libraries - of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights. We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into nonfree programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library.

A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in nonfree programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

   A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

   The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

   "Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies

of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) The modified work must itself be a software library.

   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.
   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

   Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

   In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

   Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy. This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

   If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

   However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

   When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

   If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

   Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

   You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

   a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

   b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

   c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

   d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

   e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

   For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable. It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

   a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

   b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.
   You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

   It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

   This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.
   Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

• OpenSSL

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features

or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”

4.The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5.Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6.Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young’s, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1.Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2.Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3.All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)”
The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4.If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: “This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器(テレビなど)もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは「保証とアフターサービス」**(32ページ)**をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

電源

こんなときは	対応のしかた
電源が入らない。	• 電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください **(12ページ)**。 • 電源コードをコンセントに差し込み、本体表示窓に[RESET]が表示されるまで、本体前面部の⏻**STANDBY/ON**を押し続けます。自動的に電源がオフになります。再度、本機の電源をオンにしてください。
本機の電源が自動でオンになる。	• [コントロール機能設定]を[する]に設定しているときは、接続しているテレビを操作すると、本機の電源がオンになることがあります**(21ページ)**。
本機の電源が自動でオフになる。	• [無操作オフ設定]が[する]に設定されているときは、10分以上何も操作しないと本機の電源が自動でオフになります **(21ページ)**。 • [コントロール機能設定]を[する]に設定しているときは、接続しているテレビの電源をオフにすると、本機の電源もオフになることがあります **(21ページ)**。

基本操作

こんなときは	対応のしかた
リモコンが働かない。	• リモコン受光部との距離が7 mの範囲で操作してください **(12ページ)**。 • 電池を交換してください **(12ページ)**。
本機を操作できない。	• 使用温度範囲内でご使用ください **(32ページ)**。

再生

こんなときは	対応のしかた
ディスクが再生できない。	• ディスクをクリーニングしてください **(6ページ)**。 • ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください(印刷面を上にセットしてください) **(14ページ)**。 • 本機で再生できるリージョンナンバーか確認してください **(4ページ)**。 • 本機内部の結露を除去してください **(6ページ)**。 • 正常に記録されていないディスクは再生できません。 • ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、正しく再生できないことがあります。 • 録画時間が短いと、正しく再生できないことがあります。 • BDMV/BDAV以外のフォーマットで記録されたBD-RE/-Rは再生できません。
USBメモリーのファイルが再生できない。	• 下記のディスクがセットされているときは、USBメモリーのファイルは再生できません。ディスクを取り出してください。 – BDMVまたはBDAVフォーマットのBD – VR、ビデオ、またはAVCHDフォーマットのDVD – 音楽用CD
ディスクトレイが自動で開く。	• ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください(印刷面を上にセットしてください) **(14ページ)**。 • ディスクをクリーニングしてください **(6ページ)**。 • 本機で再生できるリージョンナンバーか確認してください **(4ページ)**。 • 本機で再生できるディスクか確認してください**(4、5ページ)**。
再生が止まる。	• 本機に衝撃を与えたり、不安定な場所に置いたりしたときは、再生が止まることがあります。 • 再生中にUSBメモリーの接続/取り外しをすると、再生が停止します。再生中にUSBメモリーの接続/取り外しはしないでください。
再生時に「カチャ」と音がする。	• 本機を使用していてしばらく操作をしていなかったときは、再生開始時に本体から「カチャ」という音がすることがあります。本体の動作音で故障ではありません。

映像

こんなときは	対応のしかた
映像が映らない。	• ケーブルを奥までしっかり差し込んでください **(9、10ページ)**。 • 本機とテレビまたはAVアンプが正しく接続されているか確認してください **(9、10ページ)**。 • ディスクをクリーニングしてください **(6ページ)**。 • 本機で再生できるリージョンナンバーか確認してください **(4ページ)**。 • HDMI出力端子から映像が出ていない可能性があります。設定を確認してください **(21ページ)**。 • コンポーネント映像出力端子から映像が出ていない可能性があります。設定を確認してください **(21ページ)**。
テレビ画面が止まって操作できない。	• **■停止ボタン**を押して再生を停止してから再度再生してください。 • 停止できないときは、本体前面部の⏻**STANDBY/ON**を押して電源をオフにしてから再度電源をオンにしてください。 • 電源をオフにできないときは、本体前面部の⏻**STANDBY/ON**を5秒以上押し続けると電源がオフになります。 • 傷がついているディスクは再生できないことがあります。
音声は出るが、映像が映らない。	• 映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください **(9、10ページ)**。
• 映像が伸びている。 • 映像が切れている。 • 縦横比が切り換えられない。	• テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。 • [画面サイズ設定]を正しく設定してください **(21ページ)**。
画面に四角のノイズ(モザイク)が出る。	• デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの早い場面などでブロック上の画像が目立つことがあります。
• 再生中に映像が乱れる。 • 映像が暗い。	• 本機はロヴィコーポレーションのアナログコピー保護技術に対応しています。テレビ(ビデオデッキを内蔵したものなど) によっては、コピー保護されたディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 • DVDレコーダーやビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、アナログコピー保護によって映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください **(10ページ)**。 • 3D映像の再生中は、映像出力端子の映像が正しく表示されないことがあります。
映像または音声が正しく出力されない。	• コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声が正しく出力されない場合があります。これは故障ではありません。
3D映像が出力されない、または3Dに見えない。	• 本機とテレビをHDMIケーブルで接続してください。 • 再生しているディスクが3D対応か確認してください。 • 本機とテレビの3D設定を確認してください。 • 本機とテレビの間にAVレシーバーを接続しているときは、そのAVレシーバーが3D対応か確認してください。 • 3D映像の見え方には個人差があります。

音声

こんなときは	対応のしかた
• 音声が出ない。 • 音声が正しく出力されない。	• テレビまたはAVアンプの音量が最小になっているときは、音量を上げてください。 • スロー再生中または早送り/早戻し中は音声が出力されません **(18ページ)**。 • DVDに記録されているDTS音声は、音声出力端子(アナログ)からは出力されません。DTS音声を再生するときは、HDMI出力端子またはデジタル音声出力(光)端子を接続して、[音声出力設定]を[ビットストリーム(ミックス)]または[ビットストリーム]に設定してください **(21ページ)**。 • ケーブルを奥までしっかり差し込んでください **(11ページ)**。 • 接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。 • ディスクをクリーニングしてください **(6ページ)**。 • オーディオ信号以外の音声または規格外の音声が記録されているディスクでは、音声が出力されないことがあります。
音が左右逆になる／片方しか音が出ない。	• 音声ケーブルが左右逆に接続されたり、片方が外れたりしていないか確認してください **(11ページ)**。
映像または音声が正しく出力されない。	• コピー保護されたディスクを再生すると、映像または音声が正しく出力されないことがあります。これは故障ではありません。

ネットワーク

こんなときは	対応のしかた
インターネットに接続できない。	• LANケーブルを奥までしっかりと差し込んでください (**11ページ**)。 • モジュラーケーブルでは接続しないでください。LAN(10/100)端子にはLANケーブルを使用してください。 • イーサネットハブ(ハブ機能を持ったルーター)またはモデムの電源がオンになっているか確認してください。 • イーサネットハブ(ハブ機能を持ったルーター)またはモデムが正しく接続されているか確認してください。 • [通信設定]が正しく設定されているか確認してください(**22ページ**)。
BD-LIVEのコンテンツがダウンロードできない。	• LANケーブルを奥までしっかりと差し込んでください (**11ページ**)。 • USB機器がUSB端子に正しく接続されているか確認してください(**11ページ**)。 • BD-LIVE対応のディスクか確認してください。 • [BD-LIVE設定]が正しく設定されているか確認してください(**21ページ**)。

HDMIによるコントロール機能

こんなときは	対応のしかた
HDMIによるコントロール機能が働かない。	• HDMIケーブルを正しく接続してください (**9ページ**)。 • ハイスピードHDMIケーブルをお使いください。それ以外のHDMIケーブルではHDMIによるコントロール機能が正しく動作しないことがあります。 • 本機の[コントロール機能設定]を[する]に設定してください(**21ページ**)。 • 他社の機器とHDMIケーブルを使って接続してもHDMIによるコントロール機能は働きません。 HDMIによるコントロール機能に対応している機器と本機の間にHDMIによるコントロール機能に対応していない機器、または他社の機器が接続されているときは働きません。 接続しているフラットテレビによっては働かないことがあります。 • 接続している機器のHDMIによるコントロール機能を有効にしてください。HDMIによるコントロール機能は、HDMIケーブルで接続されているすべての機器のHDMIによるコントロール機能を有効にしているときに働きます。接続および各機器の設定が完了したら、本機の映像がフラットテレビに出力されているか必ず確認してください(接続する機器を変更したり、HDMIケーブルを差し直したときも確認してください)。本機の映像がフラットテレビに正しく出力されていないと、HDMIによるコントロール機能が正常に動作しないことがあります。 • 本機を含めて3台以上のプレーヤーが接続されていると働かないことがあります。 • 接続している機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

その他

こんなときは	対応のしかた
テレビが正しく操作できない。	• リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してお使いください。
使用中に本体が熱くなる。	• 本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。
接続している機器の入力が自動で切り換わる。	• [コントロール機能設定]を[する]にしているときは、接続しているテレビやAVアンプの入力が自動で切り換わることがあります (**21ページ**)。
ソフトウェアの更新ができない。	• ソフトウェアを更新するときは、ディスクトレイからディスクを取り出してください。
本体表示窓に[HOLD]と表示して操作ができない。	• 操作ロック中 (**8ページ**) です。リモコンの**キーロックボタン**を5秒以上押し続け操作ロック機能を解除してください。

リセットのしかた

- 下記のような症状が起こったときは、本体前面部の⏻**STANDBY/ON**を押し続けて、本機をリセットしてください。
  ・操作ボタンを受け付けない
  ・雑音が出る
  ・電源がオフにならない
  本体表示窓に[RESET]と表示されると、本機がリセット状態になり電源がオフになります。再度本機の電源をオンにしてください。
- 電源をオンにするとシステム確認のため完了まで数分間かかることがあります。
- リセットすると、言語設定などの情報は、残らないことがあります。
- リセットしても改善されないときは、電源をオフにします。そのあと、電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んでください。
  ※症状が改善されないときは、販売店にご相談ください。

エラーメッセージ(例)

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、テレビ画面に次のような表示が出ます。

テレビ画面表示	エラーの内容	対応のしかた
再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき	• ディスクを確かめて入れ直してください。
ディスクを読み込めませんでした。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき • ディスクに傷、汚れがあるとき • 印刷面を下にセットしているとき(ディスクトレイが自動で開きます)	
	• 規格外のディスクをセットしたとき	• ディスクを取り出してください。
この操作はできません。	• 誤った操作をしたとき	――
このUSBメモリーは正しく初期化されませんでした。フォーマットし直してください。	• フォーマットに失敗したとき	• フォーマットし直してください。
接続されたUSBメモリーは使えません。USB2.0対応USBメモリーをお使いください。	• USB2.0対応のUSBメモリー以外を使用しているとき	• USB2.0対応のUSBメモリーを使用してください。

用語解説

インターレーススキャン(飛び越し走査)
映像の1画面を2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて1画面(フレーム)を表示します。

カウンター表示
タイトルや経過時間などを表示します(表示しないディスクもあります)。

コピーガード(コピー制御信号)
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は、録画することができません。

視聴制限(パレンタルレベル)
デジタル放送やBD/DVDビデオの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定できます。

字幕
BD/DVDに記録されている、テキスト情報です**(19、20ページ)**。

スキップ
チャプター(章)やトラック(曲)などを飛ばして頭出しできます**(18ページ)**。

タイトル番号
BD/DVDに記録されているタイトル数です。

チャプター
BD/DVDのタイトル中にある章をチャプターといいます**(19、20ページ)**。

つづき再生
前回停止したところから、再生を再開できます**(14、19ページ)**。

ディスクメニュー
ディスクメニューがあるときは、字幕や音声などを画面から選べます**(15ページ)**。

トップ(タイトル)メニュー
チャプターや字幕言語などを選ぶメニュー画面です**(15ページ)**。

トラック番号
音楽CDに記録された曲番です**(19、20ページ)**。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは、通常のPCM音声の数分の一のデータ量で最大5.1チャンネルの音声を収録する音声フォーマットです。

ドルビーデジタルプラス
ドルビーデジタルの拡張・改良版であるドルビーデジタルプラスは、限られたデータ帯域を使って高品質なサラウンド音声を提供する高い効率性と柔軟性を備えた音声フォーマットです。BDビデオでは、最大7.1チャンネルのデジタル音声を収録できます。

ドルビーTrueHD
元の音声データをまったく同じ音質で再現できる可逆圧縮(ロスレス圧縮)方式を使用した音声フォーマットです。BDビデオでは、96 kHz/24 bitでは最大8チャンネル、192 kHz/24 bitでは最大6チャンネルの音声を収録できます。

パンスキャン
4：3のテレビと本機を接続しワイド(16：9)記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です**(21ページ)**。

ブルーレイディスク(BD)
片面1層25 GB、片面2層50 GBの大容量を実現し、ハイビジョン映像はもちろん、さらに高画質な映像の記録にも対応できる能力を備えたディスクです**(4ページ)**。

プログレッシブスキャン(順次走査)
映像の1画面を一度に描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。

ポップアップメニュー
BDのポップアップメニューやDVDのメニューを表示します**(15ページ)**。

マルチアングル
BD/DVDビデオの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です(マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です)**(19、20ページ)**。

マルチ音声
デジタル放送やBD/DVDビデオの特長のひとつで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

リージョンナンバー(地域番号)
ブルーレイディスクプレーヤーとBD/DVDビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。

リニアPCM音声
圧縮をしない音声信号です。

レターボックス
4：3のテレビと本機を接続しワイド(16：9)記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です**(21ページ)**。

AVCHD(Advanced Video Codec High Definition)
AVCHDは、高効率な符号化技術を使ってさまざまなメディアに高精細なハイビジョン信号を記録する、ハイビジョン(HD)デジタルビデオカメラの規格です。

BDAV
BDの規格のうち、BSデジタルまたは地上デジタル放送の番組を録画するために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機ではBDAVと表しています**(7ページ)**。

BD-J(Java)アプリケーション
BDビデオでは、BD-J(Java)アプリケーションを利用することにより、ゲームなどを含む、よりインタラクティブ性の高いタイトルを制作できます。

BD-LIVE
インターネットを経由して、予告編映像、追加の音声/字幕言語のダウンロードやオンラインゲームなどのBD-LIVE機能が楽しめます。BD-LIVE機能でダウンロードしたデータ(予告編映像など)はメモリーに記憶されます**(15ページ)**。BD-LIVE機能についてはディスクの説明書をご覧ください。

BDMV
BDの規格のうち、パッケージされたハイビジョン(HD)映画コンテンツのために設計されたビデオアプリケーションの規格を、本機ではBDMVと表しています**(4ページ)**。

BD ビデオ
BDの規格のうち再生専用メディアを表す規格のことです。

BD-R
BDの規格のうちデータを一度だけ書き込める規格のことです。BD-Rではデータ追記が可能ですが、一度記録したデータは書き換えられません**(4ページ)**。

BD-RE
BDの規格のうちデータを書き込みおよび書き換えができる規格のことです**(4ページ)**。

DivX®
DivX®は、DivX, Inc.が作成したデジタルビデオフォーマットです。本機はDivXビデオを再生できる公式なDivX Certified®機器です。DivXビデオへの変換ソフト、その他の情報は、divx.comをご覧ください。

DTS
デジタルシアターシステムズ社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声6チャンネルを使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DTS-HD High Resolution Audio
不可逆圧縮方式を使用した音声フォーマットです。96 kHz/24 bitの7.1チャンネル音声を収録できます。

DTS-HD Master Audio
元の音声データとまったく同じ音質を再現できる可逆圧縮(ロスレス圧縮)方式を使用した音声フォーマットです。BDでは、96 kHz/24 bitの7.1チャンネル音声または192 kHz/24 bitの5.1チャンネル音声を収録できます。

DTS-HD Master Audio Essential
BDビデオの再生では、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution、DTS 96 kHz/24 bit、DTS-ES、DTS Digital Surroundのデコードが可能です。DVDビデオの再生ではDTS Digital Surroundのみサポートしています。

DVDアップスケーリング
DVDに記録されている従来のアナログテレビ放送(SD)の大きさにあたる標準画質映像を、高精細テレビ放送(HD)の大きさにあたるハイビジョン画質映像に拡張する機能のことです。

DVDビデオ
DVDの規格のうち再生専用メディアを表す規格のことです**(4ページ)**。

DVD-RおよびDVD+R
DVD規格のうち1回だけ書き込みが可能なメディアを表す規格のことです。DVD-RおよびDVD+RにはVRモードとビデオモードがあります。VRモードはVideo Recording(ビデオレコーディング)の略で、DVD-RWの基本記録方式です。DVD-RおよびDVD+Rでは消去できますが、残量は増えません。ビデオモードは市販のDVDビデオと同じ記録方式です**(4ページ)**。

DVD-RWおよびDVD+RW
DVD規格のうち繰り返し録画/消去ができるメディアを表す規格のことです。DVD-RWおよびDVD+RWにはVRモードとビデオモードがあります。VRモードはVideo Recording(ビデオレコーディング)の略です。DVD-RWの基本記録方式で、録画または消去を繰り返すことができます。ビデオモードは市販のDVDビデオと同じ記録方式です**(4ページ)**。

HDMI
本機は、High-Definition Multimedia Interface (HDMI®)技術を組み込んでいます。
1本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号でHDMI 対応機器に伝送できます**(9ページ)**。

JPEGファイル
静止画ファイルを圧縮する技術の1つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルカメラやインターネットなどで、広く使われています**(6、17ページ)**。

MPEG-2
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です

x.v.Color
"x.v.Color"表示に対応したテレビなどと接続し、xvYCCに準拠した映像信号を再生した場合、従来より色再現性が拡大され、自然界の色をより忠実に再現できます。

おもな仕様

一般

電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	15 W
待機時消費電力(スタンバイ状態)	0.5 W
外形寸法	BDP-LX54： 420 mm (幅) × 72.5 mm (高さ) × 228 mm (奥行) BDP-430 ： 420 mm (幅) × 68 mm (高さ) × 228 mm (奥行)
質量	BDP-LX54： 3.3 kg BDP-430 ： 2.5 kg
許容動作温度	＋5 ℃～＋35 ℃
許容動作湿度	10 %～80 %(結露のないこと)
テレビ方式	NTSC方式

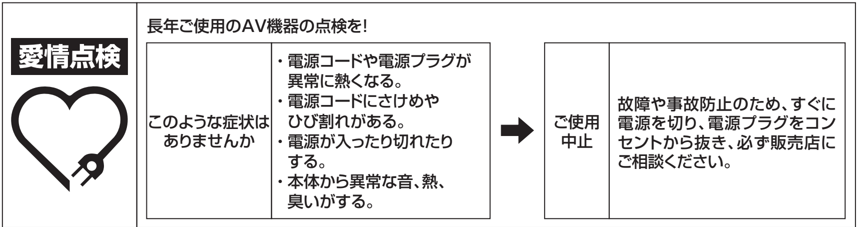
再生

再生できるディスク	BDビデオ、BD-RE、BD-RE2層ディスク、BD-R2層ディスク、DVDビデオ、DVD-RW/-R/+RW/+R2層ディスク(ビデオ/VR/AVCHDフォーマット)、音楽CD(CD-DA)、CD-RW/-R(CD-DA、MP3、JPEGファイルフォーマット)

入力/出力

HDMI出力	1系統、19ピン(5 V、250 mA)
コンポーネント映像出力	1系統、ピンジャック： Y(輝度)：1 Vp-p(75 Ω) P_B、P_R(色差)：0.7 Vp-p(75 Ω)
映像出力	1系統、ピンジャック：1 Vp-p(75 Ω)
デジタル音声出力(光)	1系統、角型光ジャック
音声出力	1系統、ピンジャック：2 V rms
USB	2系統(フロント1、リア1)、USB2.0ハイスピード対応(480 Mbit/s)
LAN(10/100)	1系統、イーサネットジャック：10BASE-T/100BASE-TX

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



K026*_A1_Ja

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

⚠ご注意

- 「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします(**3ページ**)。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に**29～30ページ**の「故障かな？と思ったら」および「エラーメッセージ(例)」の項目をご確認ください。
それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、**33ページ**に記載の修理受付窓口またはお買い求めの販売店へご依頼ください。
本品は持ち込み修理対応製品です。
故障して修理をお受けになる場合は、パイオニアサービス窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名:ブルーレイディスクプレーヤー
- 型番：BDP-LX54またはBDP-430
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作(使用したディスクも)で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

K041_A1_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆ 北海道サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区
受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆ 東北サービスセンター	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX	024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX	019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内
受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX	03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX	047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX	025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX	045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX	046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX	0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX	054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX	055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX	076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　(有)テクビット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118	熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121		

平成22年10月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120－944－222　　一般電話　044－572－8102
■ファックス　044－572－8103
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120－5－81028（ゴーハイオニア）　　一般電話　044－572－8100
■ファックス　フリーコール 0120－5－81029
■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－987－1120
■ファックス　098－987－1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120－5－81095　　一般電話　044－572－8107
■ファックス　フリーコール 0120－5－81096

平成22年10月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.041

その他

インターネットによるお客様登録のお願い　http://pioneer.jp/support/

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

ブルーレイディスクプレーヤーに関するお知らせ　http://pioneer.jp/support/product/blu.html

本製品に関する製品情報を弊社ホームページで公開しております。ブルーレイディスクプレーヤーに関するアップデート、またはサービス情報をご確認ください。

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

<VRA1298-A>

